

平成30年度 尾張旭市営バス利用状況報告書



令和元年7月
都市整備部都市計画課

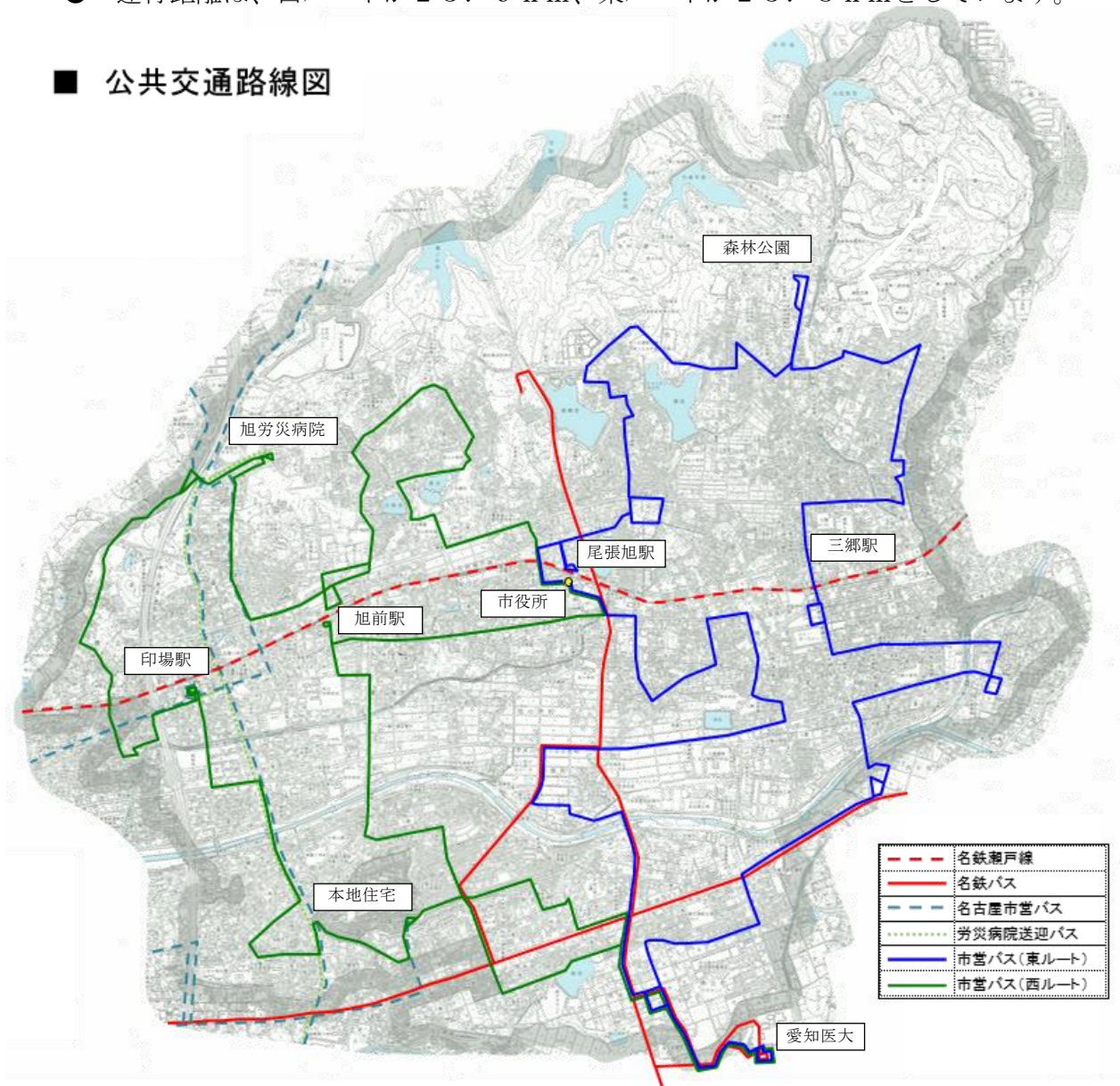
目 次

1 市営バスの概要	1
2 市営バス運行の経緯	2
(1) 試験運行開始前	2
(2) 試験運行の実施	3
(3) 本格運行の実施	3
(4) 運行見直しの検討、運行内容変更	3
3 市営バスの利用状況	5
(1) 利用者の推移及び内訳	5
(2) ルート別利用者数の状況	6
(3) 運行便別利用者数の状況（全体）	7
(4) 運行便別利用者数の状況（ルート別）	8
(5) 停留所別利用者数の状況	11
(6) ルート別の停留所利用の状況	20
(7) 平日第2便の平均乗車人員の状況	24
(8) 曜日別の利用者数の状況	27
4 市営バスの運行経費の状況	28
(1) 市営バスの運行経費の状況	28
(2) 近隣市町のコミュニティバス運行経費等の状況	29
5 市営バス運行に対する市民意識	31
平成30年度利用者アンケート調査集計結果	34

1 市営バスの概要（～H31. 3. 31）

- 本市の市営バスは、平成20年4月1日から、4ルート（西、南西、東及び南ルート）の「シャトル方式」で本格運行を開始しました。そして、同年10月1日から、西ルートと南西ルートを統合した「西ルート」、東ルートと南ルートを統合した「東ルート」の2ルートに再編し、それぞれ「右回り」及び「左回り」の「双方向ループ方式」による運行に変更しました。
- 本報告書は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの、1年間の西ルート（マイクロバス3台 定員22人）及び東ルート（マイクロバス3台 定員26人）の利用者数を集計したものです。
- 利用料金は、1回100円で、小学校未就学児並びに障がい者（児）本人及びその付添い人1人は無料としています。また、11枚綴り1,000円の回数乗車券及び1か月3,000円の定期乗車券があります。
- 運行日は、年末年始（12月29日から1月3日まで）を除く毎日としています。また、平日は運行時間を8時10分から19時10分までとし、1日9便、休日（土日祝日）は運行時間を9時20分から17時20分までとし、1日5便を運行しています。
- 運行距離は、西ルートが23.9km、東ルートが23.8kmとしています。

■ 公共交通路線図



2 市営バス運行の経緯

(1) 試験運行開始前

ア 平成15年度以前

▽ 平成10年度

市議会定例会において、多数の会派から巡回バスについて質問。

▽ 平成11年度

巡回バス実現に係る18,000人余りの署名が、「だれでも乗れる市内巡回バスの早期実現と高齢者・障害者への交通助成費を求める陳情書」として提出。

▽ 平成12年度

交通問題対策特別委員会の設置。

イ 平成15年度

▽ 本市における生活交通のあり方を検討するものとして、学識経験者や市民の代表、公募委員からなる「尾張旭市交通問題対策協議会」を開催。

▽ 協議会では、地域交通に係る勉強会や他自治体の事例の視察、公共交通移動実態調査の検証等を実施。

▽ 協議会からの主な提言

・市内には、公共交通に恵まれた地域もあるが、一方では移動に制約を受ける交通空白地もある。このため、まずは公共交通のサービス水準が相対的に低い地域を対象として、市による新たな交通手段の確保を図ること。

・可能な限り早期に、市による新たな交通手段を具体化するため、まずは試験運行の実現のための検討組織の設置や必要な予算措置などを行うことと合わせ、真に市民の利活用があるかデータを収集すること。

・新たな交通手段によるサービスの維持などは、市民の利用の状況に大きく左右されることであり、それを利用し、守り育てていくことは市民の責任でもあることを訴えること。

・通勤通学者を考えると、運行時間が早朝から夜までになり、運行経費もかかる。まず、第1歩を始めることが重要という観点から、「元気で歩けるお年寄り」などを対象に、1人で活動可能な人の交通手段を考えること。

ウ 平成16年度

▽ 提言に基づき、試験運行の仕組みを構築する組織として、「尾張旭市交通問題懇話会」を開催。

▽ 懇話会では、平成15年度に行った公共交通移動実態調査の結果に基づき、ルート設定や使用車両の検討を実施。また、既存のバス停及び鉄道駅から500メートル圏外を「市内の交通空白地」と定義し、その解消を目指すことを確認。

(2) 試験運行の実施

ア 平成16年12月1日～平成17年7月31日

料金を1回100円として、9人乗りワゴン車3台で、西ルート、東ルート及び南ルートの3ルートの試験運行を開始。なお、満車時においては箱型タクシーにて対応。

その結果、南ルートの利用状況が少なく、更なる利用増進が課題となった。

イ 平成17年8月1日～平成18年8月6日

主に南ルートを増強し、愛知医大及び本地ヶ原住宅に停留所を設置。その結果、乗り継ぎ利用者の増加と、これに伴う積み残し対応タクシーの増加が発生。さらに、運行頻度の充実に対する要望や、未運行地域からの要望も増加。

ウ 平成18年8月7日～平成20年3月31日

ルートの見直しを行い、3ルートから4ルートに拡充（南西ルートを新たに増設）。

また、平成19年12月5日からは、西ルート、東ルートにマイクロバスを導入。これに合わせ、車両デザインを市民公募するとともに、愛称を「あさぴ一号」とした。なお、南ルート及び南西ルートについては、引き続き9人乗りワゴン車にて対応。

(3) 本格運行の実施

ア 平成20年4月1日～9月30日

指定管理者制度の導入により、本格運行を開始。併せてルートの見直しを実施するとともに、障がい者本人の運賃を無料化。

また、南ルート、南西ルートに指定管理者所有のマイクロバスを導入。

イ 平成20年10月1日～

西ルートと南西ルートを統合して「西ルート」、東ルートと南ルートを統合して「東ルート」とし、「シャトル方式」の運行を、2ルート4台の車両で運行する「双方向ループ方式」に変更。

また、平成20年11月27日からは、南ルートと南西ルートで使用していた指定管理者所有の車両を、市所有のマイクロバスに変更し、4台の車両のデザインを統一。

ウ 平成24年4月1日～

名鉄瀬戸線旭前駅の駅前広場整備に伴い、西ルートを一部変更し、名鉄瀬戸線北側から旭前駅へ乗り入れを実施。

(4) 運行見直しの検討、運行内容変更

ア 平成26年4月1日～平成27年3月31日

市営バスをとりまく環境の変化、市民からの新たな要望（運行頻度の向上や日祝日運行等）及び車両の老朽化を踏まえ、運行見直しの検討を実施。

その結果、市営バスが市民生活における重要な移動手段として定着していることから、現行の運行ルートを基本とした見直しを行うこととした。

イ 平成27年4月1日～平成28年3月31日

平成26年度の検討結果を踏まえた、新たな運行ルート及び停留所位置を検討し、それに基づく運行ダイヤ及び運行経費を検討。また、利便性向上によるバス利用促進を図るため、定期券等の導入を検討。

ウ 平成28年4月1日～平成28年12月28日

運行見直しの検討結果を踏まえ、運行内容を次のとおり変更。

▽ 運行日：新たに日曜日、祝日を運行(運休日：年末年始(12/29～1/3)のみ)

▽ 運行本数：平日は1日9便、休日(土日祝日)は5便

・ 平日：運行間隔は60分に1本、8時15分～19時05分

・ 休日：運行間隔は100分に1本、9時20分～17時20分

▽ 運賃 運賃や回数乗車券はそのままに、新たに定期乗車券を導入

・ 定期乗車券：1か月3,000円

▽ 主な新規乗入れ先

・ 西ルート：本地住宅(名古屋市営バスターミナル内に移設)
愛知医大(停留所は東ルートと共通)

・ 東ルート：森林公園(園内に停留所を新設)

多世代交流館(交流館近くに停留所を新設)

▽ 運行距離

・ 西ルート：24.5km 東ルート：24.4km

▽ 車両

車両を増車し、西ルート3台、東ルート3台 計6台で運行

・ 購入する車両(4台)は現行と同車種で、デザインを一新

エ 平成29年1月4日～

運行内容見直し後、平日ダイヤの遅延運行が頻発し、利用者からの問合せや苦情が多発したことから、遅延調査を実施。遅延の実態を把握したうえで、その実態に即し、平日においては、運行間隔を「60分に1本、8時15分～19時05分から「60～70分程度に1本、8時10分～19時10分」とするようダイヤ改正を実施。

その結果、平日に遅延運行が9割減少し、利用者からの問い合わせも減少。

オ 平成29年4月1日～

愛知医科大学病院バスロータリー完成により乗り入れを開始。これにより運行距離が短縮(西ルート：23.9km 東ルート：23.8km)

バスロータリーに名鉄バスや長久手市、瀬戸市が運行するコミュニティバスが乗り入れていることから、乗り継ぎ利便性が向上。

3 市営バスの利用状況

(1) 利用者の推移及び内訳

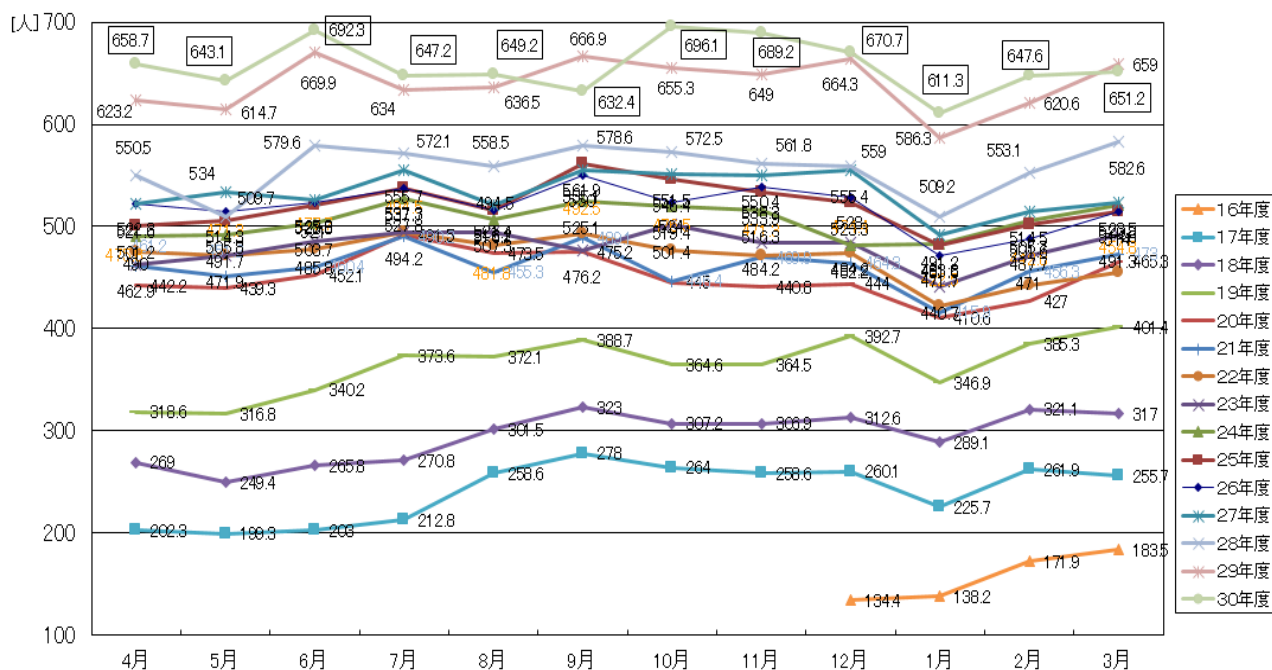
○ 年間利用者数の推移

単位：人

	年間利用者数	1日あたり平均利用者数	有料利用者	無料利用者		
				未就学	障がい者	介助者
平成16年度	14,995	157.8	14,409	478	—	108
平成17年度	70,540	239.9	67,498	2,682	—	360
平成18年度	86,793	294.2	84,064	2,492	—	237
平成19年度	107,263	363.6	103,214	3,739	—	310
平成20年度	132,653	451.2	119,918	4,320	7,703	712
平成21年度	135,625	461.3	118,363	3,288	12,813	1,161
平成22年度	138,273	470.3	119,080	2,718	15,205	1,270
平成23年度	141,731	480.4	118,025	2,993	18,888	1,825
平成24年度	148,868	506.4	122,785	3,464	20,616	2,003
平成25年度	153,553	520.5	124,102	3,015	24,562	1,874
平成26年度	152,693	519.4	120,949	3,319	26,496	1,929
平成27年度	157,319	533.3	124,670	4,043	26,569	2,037
平成28年度	200,168	557.6	162,040	4,436	30,192	3,500
平成29年度	229,849	640.2	187,204	4,205	34,472	3,968
平成30年度	236,096	657.6	190,143	4,351	37,911	3,691

- ※ 16年度は12月からの4か月間（3ルート、ジャンボタクシーでの運行）
- ※ 18年度は8月から4ルートでの運行、マイクロバスでの無償運行等を実施
- ※ 19年度は12月から2台をマイクロバスに変えて運行
- ※ 20年度は10月から2ルート「双方向ループ方式」に変更して運行
- ※ 28年度から運行内容変更（運行頻度向上、日祝日運行、定期乗車券導入、2台増車して6台で運行）

○ 1日あたり平均利用者数の推移



(2) ルート別利用者数の状況

冬季（12～2月）の間は、例年と同様に他の月と比べ、気温等を要因とする自然減と思われる利用者数の落ち込みがありますが、他の季節については落ち込みが少ない状況です。なお、1日あたりの平均利用者数が最も多い月は10月でした。

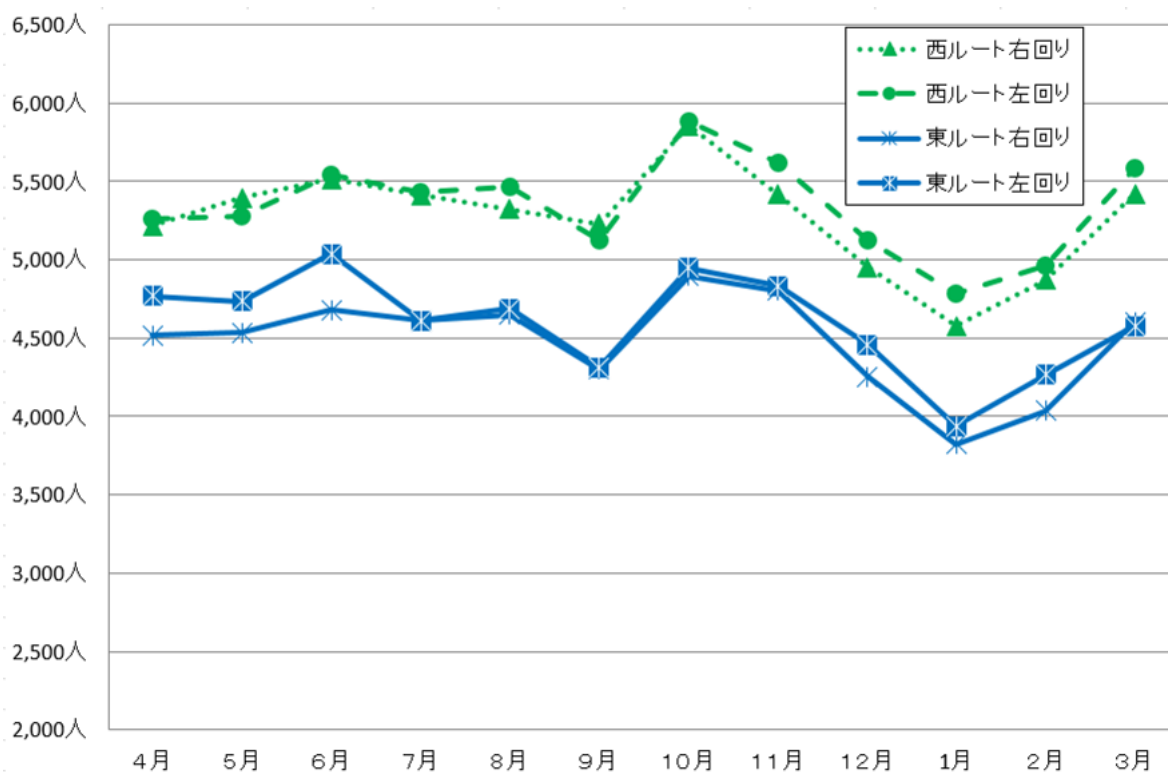
路線別で見ますと、全体では、各月の利用者数増減は同じような傾向があり、気温が下がる1月について利用が減少しています。ルート別では、西ルートの利用者数が伸びており、10月及び11月には1か月の利用者が1万1千人を超え、全体においても、10月には1か月の利用者が2万1千人を超える状況となりました。

○ 路線別利用者数

単位：人

	西ルート			東ルート			合計	1日あたり 平均利用者数
	右回り	左回り	小計	右回り	左回り	小計		
4月(30日間)	5,214	5,264	10,478	4,515	4,768	9,283	19,761	658.7
5月(31日間)	5,393	5,274	10,667	4,533	4,736	9,269	19,936	643.1
6月(30日間)	5,515	5,540	11,055	4,679	5,035	9,714	20,769	692.3
7月(31日間)	5,412	5,433	10,845	4,610	4,609	9,219	20,064	647.2
8月(31日間)	5,323	5,468	10,791	4,647	4,687	9,334	20,125	649.2
9月(30日間)	5,230	5,127	10,357	4,301	4,313	8,614	18,971	632.4
10月(31日間)	5,853	5,882	11,735	4,897	4,946	9,843	21,578	696.1
11月(30日間)	5,415	5,622	11,037	4,804	4,834	9,638	20,675	689.2
12月(28日間)	4,950	5,120	10,070	4,251	4,459	8,710	18,780	670.7
1月(28日間)	4,575	4,784	9,359	3,821	3,936	7,757	17,116	611.3
2月(28日間)	4,872	4,961	9,833	4,035	4,266	8,301	18,134	647.6
3月(31日間)	5,421	5,587	11,008	4,602	4,577	9,179	20,187	651.2
合計(359日間)	63,173	64,062	127,235	53,695	55,166	108,861	236,096	657.6

※（ ）内は運行日数

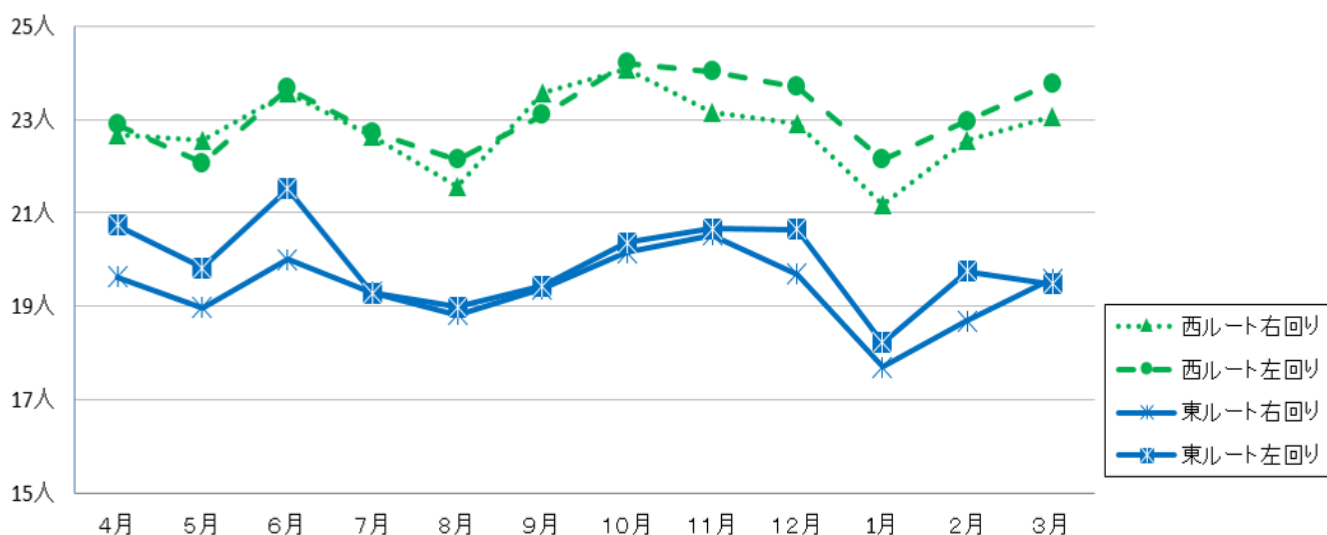


○ 1便あたりの平均利用者数

単位：人

	西ルート		東ルート		平成30年度 (全体)	平成29年度 (全体)
	右回り	左回り	右回り	左回り		
4月	22.7	22.9	19.6	20.7	21.5	20.3
5月	22.6	22.1	19.0	19.8	20.9	20.3
6月	23.6	23.7	20.0	21.5	22.2	21.1
7月	22.6	22.7	19.3	19.3	21.0	20.9
8月	21.6	22.1	18.8	19.0	20.4	20.3
9月	23.6	23.1	19.4	19.4	21.4	20.9
10月	24.1	24.2	20.2	20.4	22.2	21.2
11月	23.1	24.0	20.5	20.7	22.1	21.2
12月	22.9	23.7	19.7	20.6	21.7	21.1
1月	21.2	22.1	17.7	18.2	19.8	19.0
2月	22.6	23.0	18.7	19.8	21.0	20.1
3月	23.1	23.8	19.6	19.5	21.5	21.0
年間	22.7	22.9	19.6	20.7	21.5	21.4

※ 土・休日を含む。



(3) 運行便別利用者数の状況（全体）

平成30年4月から平成31年3月までの間における、西ルート及び東ルートの利用者数の運行便別の利用状況の割合は、次のとおりとなりました。

各ルートとも第1、2便の利用者数が多くなっています。

なお、第6便以降、時間帯が遅くなるにつれて利用が少なくなる状況にあります。

	西ルート		東ルート	
	右回り	左回り	右回り	左回り
第1便(8:10~8:40)	18.4%	18.9%	17.1%	14.4%
第2便(9:20~10:00)	17.4%	15.8%	18.4%	17.4%
第3便(10:30~11:00)	13.6%	14.8%	15.8%	15.0%
第4便(11:40~12:10)	13.5%	13.7%	13.7%	14.4%
第5便(12:40~13:20)	10.2%	10.5%	10.7%	11.4%
第6便(13:50~14:20)	7.8%	8.4%	7.1%	8.1%
第7便(15:00~15:30)	8.1%	8.6%	9.2%	7.7%
第8便(16:00~16:40)	6.9%	4.9%	4.6%	7.9%
第9便(17:10~17:40)	4.1%	4.4%	3.4%	3.7%

(4) 運行便別利用者数の状況（ルート別）

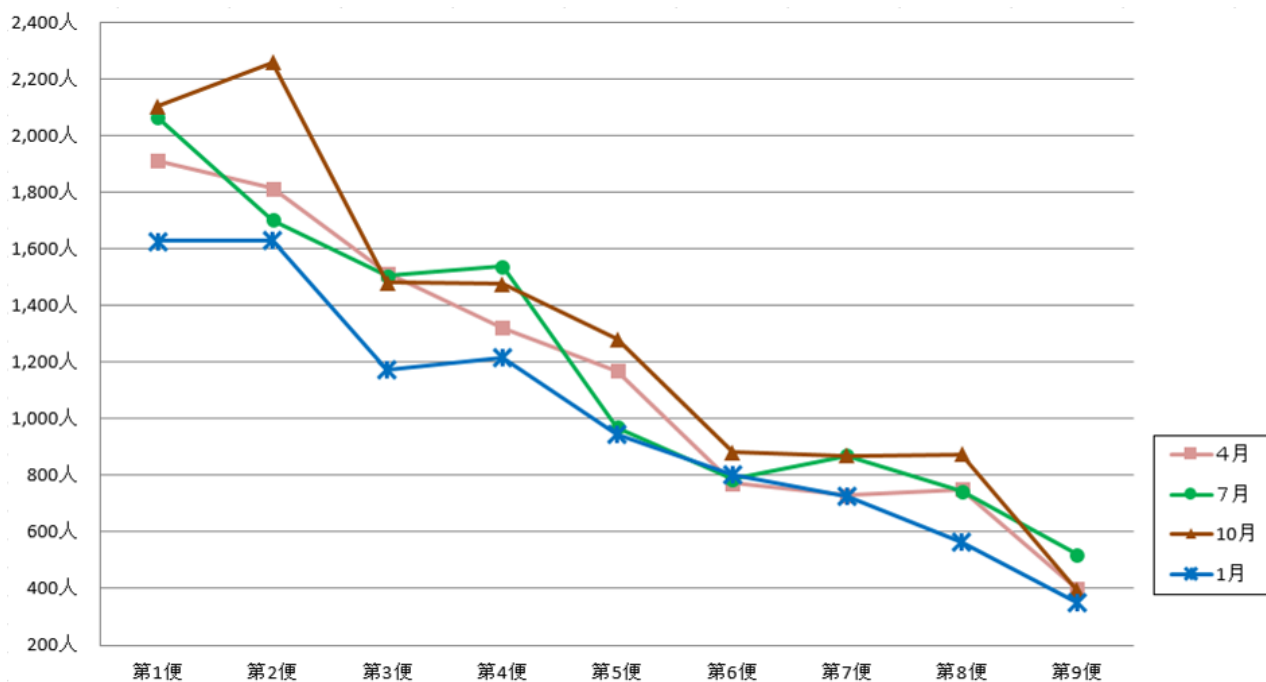
平成30年4月、7月、10月及び平成31年1月における、西ルート及び東ルートの1日当りの利用者数を運行便別にそれぞれグラフで示しました。

ア 西ルート（右回り）

西ルート（右回り）では、各月とも第1便と第2便の利用者数が最も多く、時間が遅くなるにつれ、利用者数も減少傾向にあります。

なお、利用者の多くが病院への通院、買い物、市役所など公共施設への用事などにバスを利用していることから、第1～2便は目的地に向かうため、第3～5便は帰宅のために利用していると考えられます。

○ 西ルート（右回り）運行便別利用者数

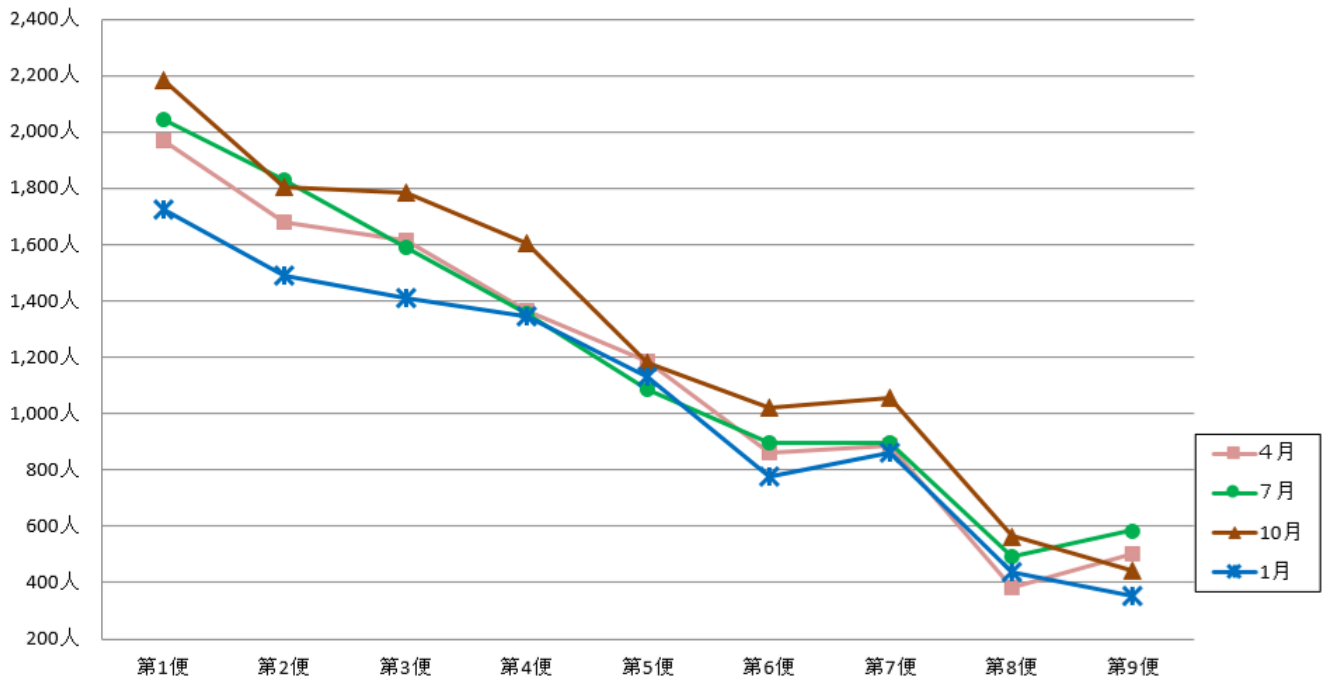


イ 西ルート（左回り）

西ルート（左回り）では、各月とも第1便の利用者数が最も多く、「右回り」と同様に、時間が遅くなるにつれ、利用者数も減少傾向にあります。

第1便の利用者数が一番多い理由として、病院への外来（旭労災病院）や商業施設の開店時間などが要因の一つであると考えられます。

○ 西ルート（左回り）運行便別利用者数

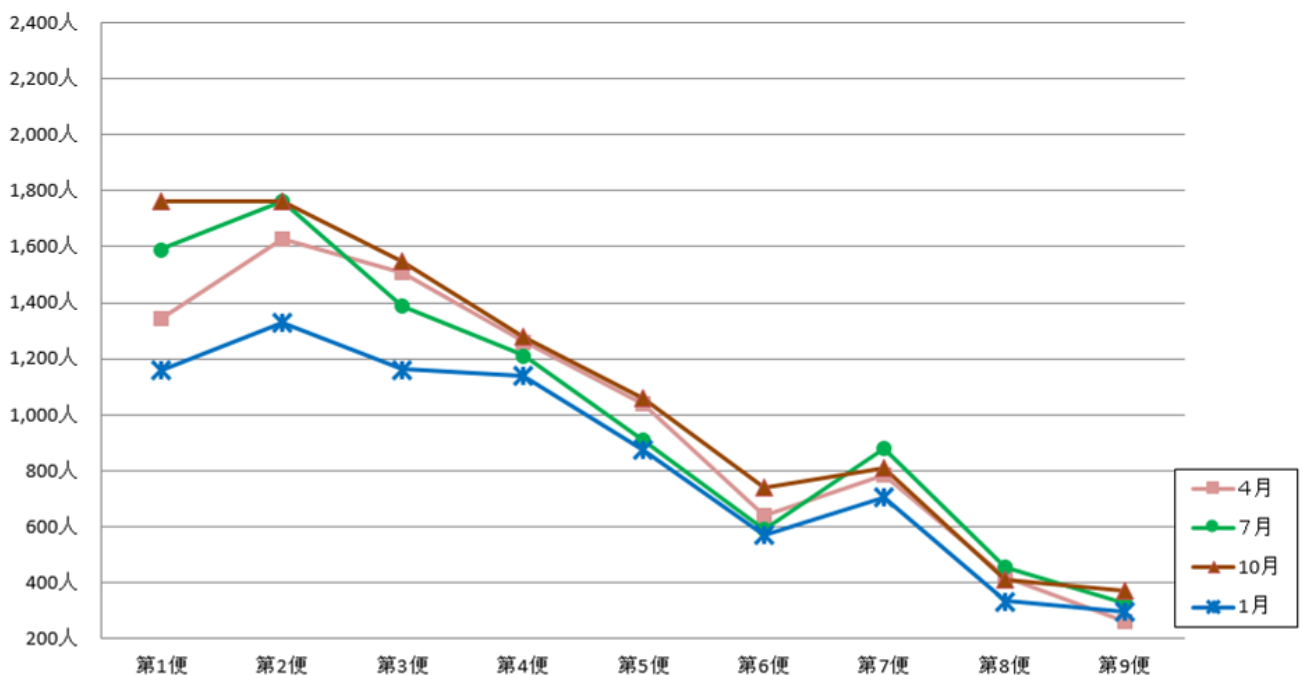


ウ 東ルート（右回り）

東ルート（右回り）では、各月とも第1便から第3便の利用者数が多い傾向が見られます。また、他のルートと比べて第7便の利用者数が多くなっています。

この第1～3便及び第7便では「市役所」「愛知医大」のほか、多数のイトーヨーカドーの利用者が「イトーヨーカドー前」停留所で乗降していることが、その要因の一つであると考えられます。

○ 東ルート（右回り）運行便別利用者数

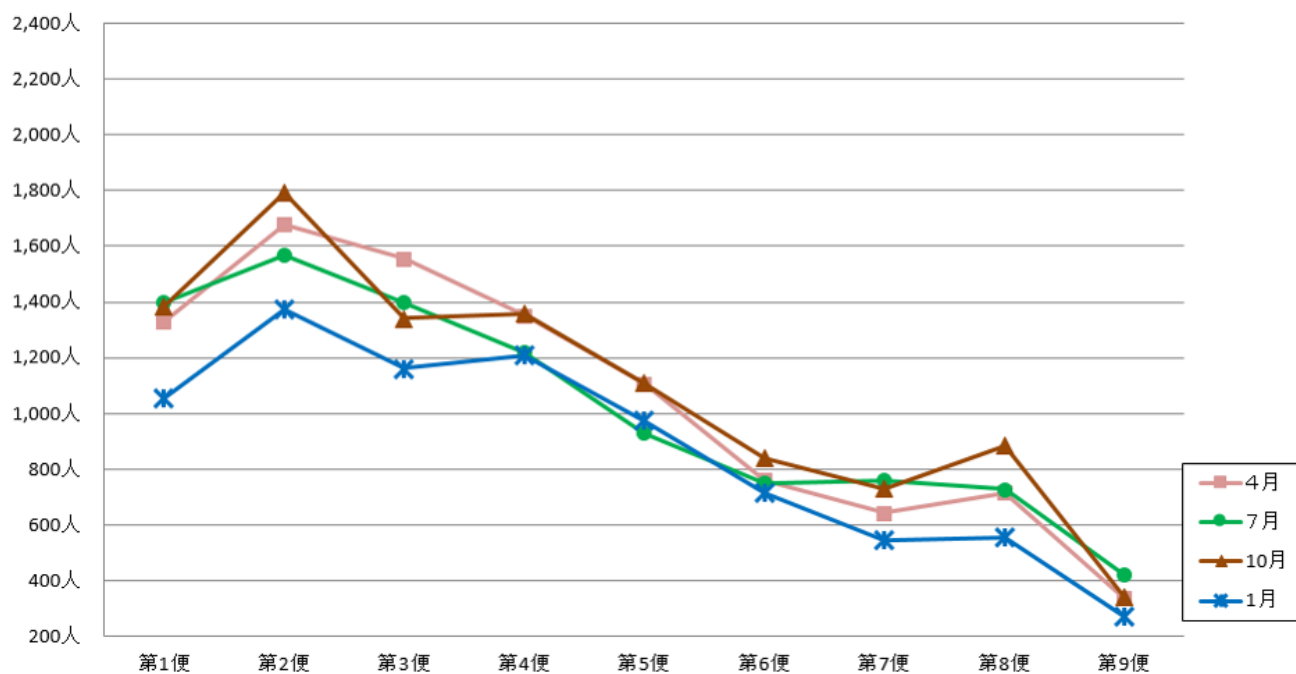


エ 東ルート（左回り）

東ルート（左回り）は、各月とも第1～4便の利用者数が多く、特に他のルートと比べて、第1便よりも第2便の利用者数が多くなっています。

第2便の利用者が一番多い理由として、イトーヨーカドーやアカバネにて買い物のために出かける利用者によるものと考えられます。

○ 東ルート（左回り）運行便別利用者数



(5) 停留所別利用者数の状況

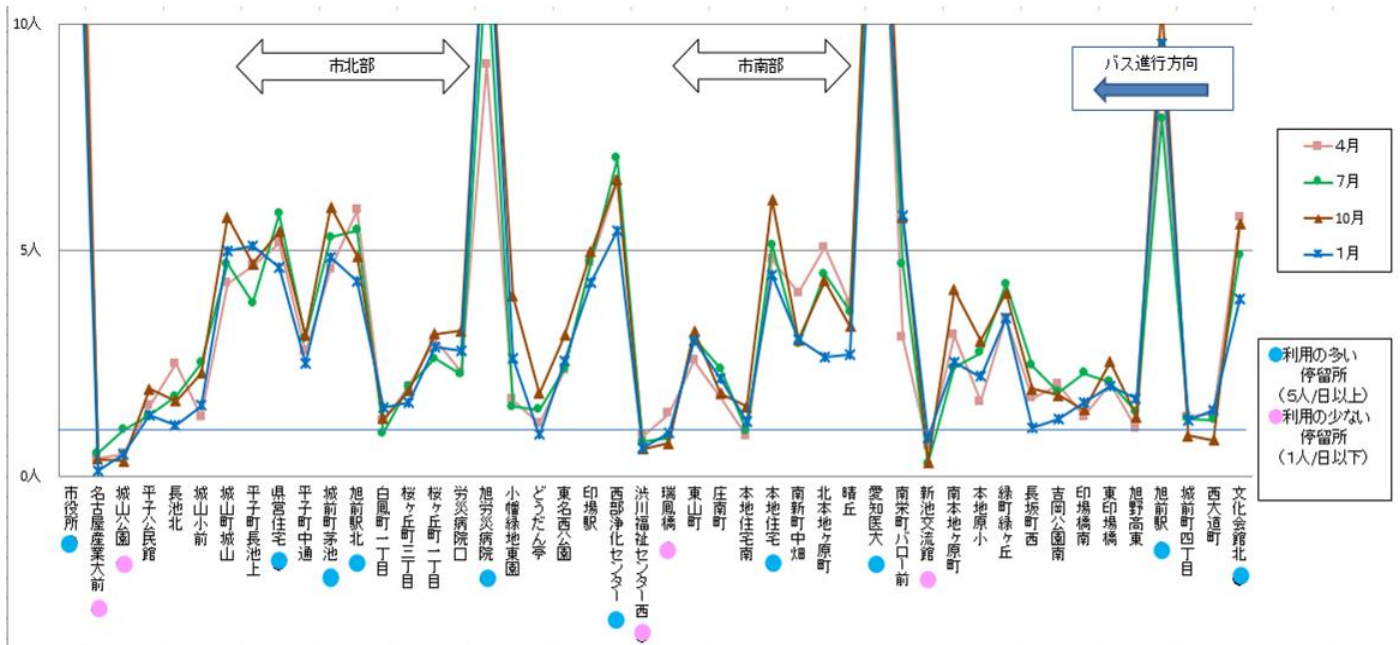
平成30年4月、7月、10月及び平成31年1月における、西ルート及び東ルートの1日あたりの利用者数を、停留所別に乗車・降車に分けて集計し、それぞれグラフで示しました。

ア 西ルート（右回り）【乗車】

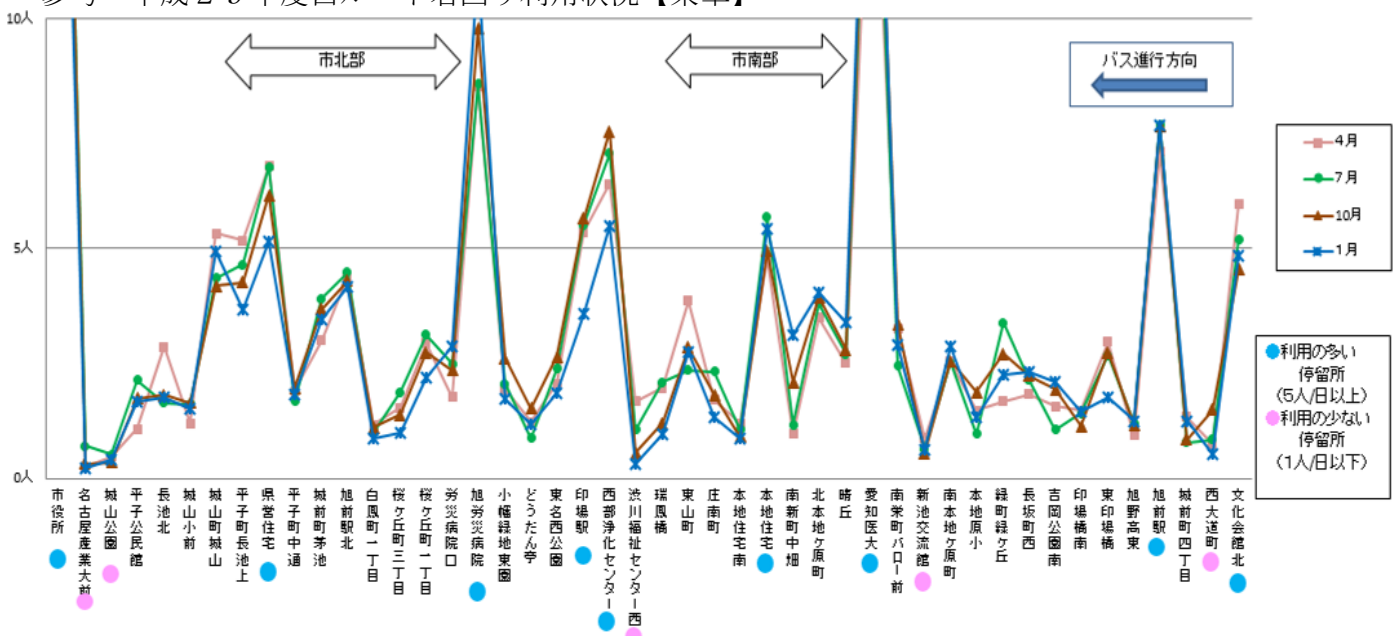
乗車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「県営住宅」「城前町茅池」「旭前駅北」「旭労災病院」「西部浄化センター」「本地住宅」「愛知医大」「旭前駅」「文化会館北」となっており、市北部の住宅地での利用数が比較的高い傾向にあります。また、「愛知医大」の利用が特に多い状況です。

一方、乗車の少ない停留所（1人/日未満）は、「名古屋産業大前」「城山公園」「渋川福祉センター西」「瑞鳳橋」「新池交流館」となっています。

月別の利用状況には、それほど大きな差異は見られませんが、市南部での利用数が少ない傾向にあります。



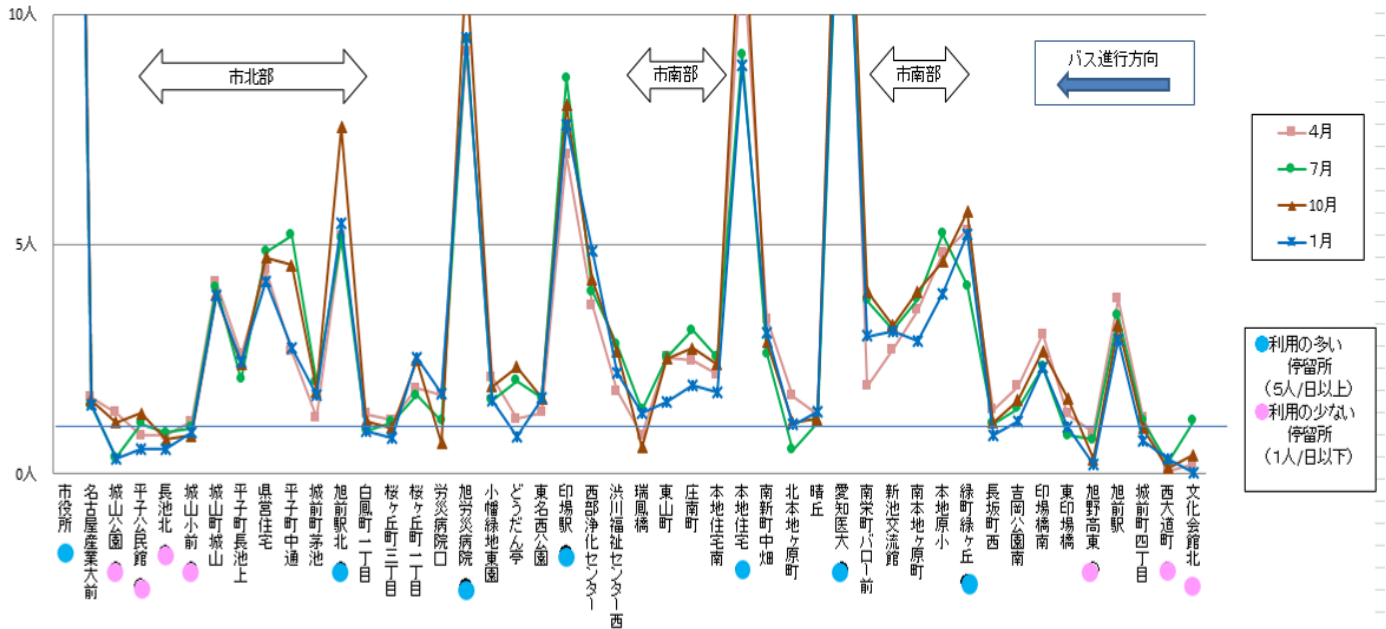
参考 平成29年度西ルート右回り利用状況【乗車】



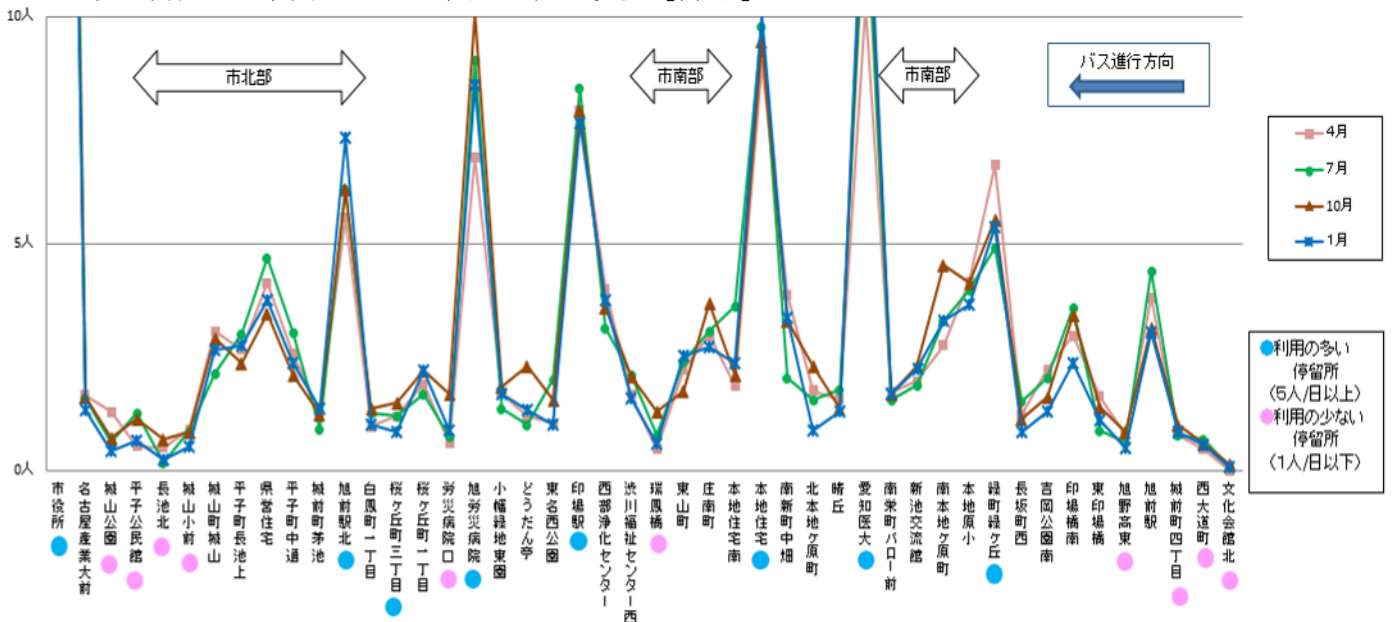
イ 西ルート（右回り）【降車】

降車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「旭前駅北」「旭労災病院」「印場駅」「本地住宅」「愛知医大」「緑町緑ヶ丘」となっており、乗車と比較し、市南部での利用数が比較的高い傾向にあります。また、「市役所」「本地住宅」での降車が多く、乗り継ぎとして利用されております。

一方、降車の少ない停留所（1人/日未満）は、「城山公園」「平子公民館」「長池北」「城山小前」「旭野高東」「西大道町」「文化会館北」となっており、乗車と比較し、市北部での利用数が少ない傾向にあります。



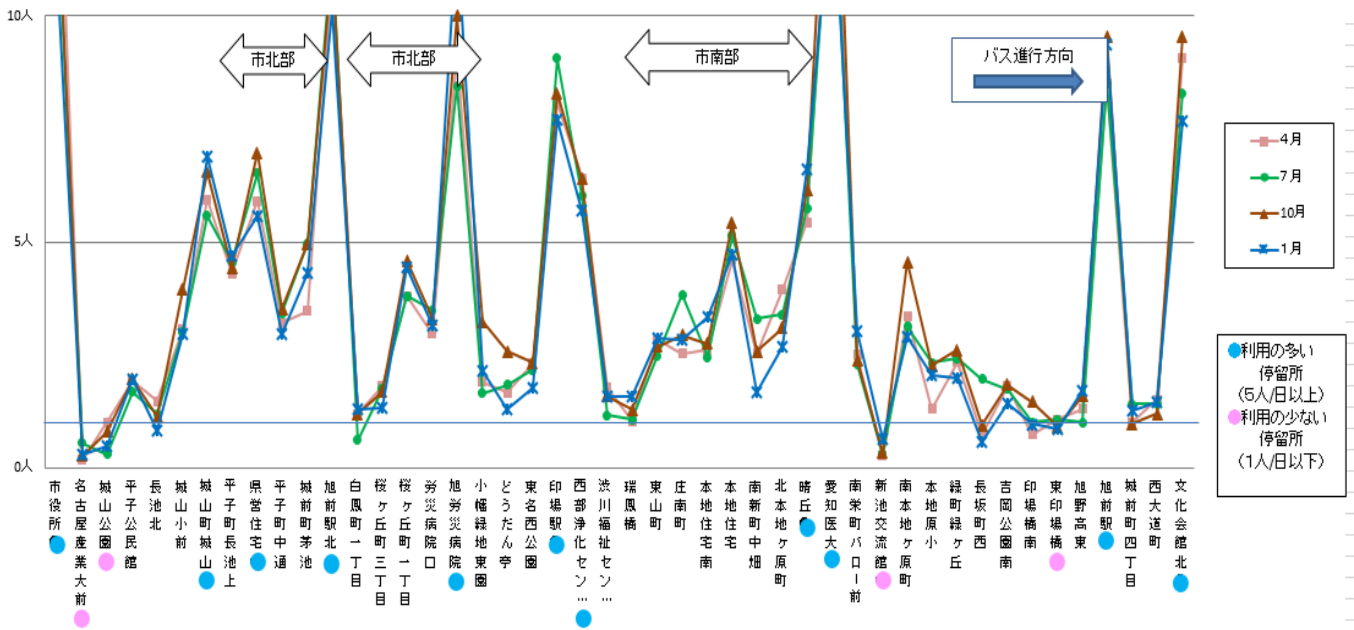
参考 平成29年度西ルート右回り利用状況【降車】



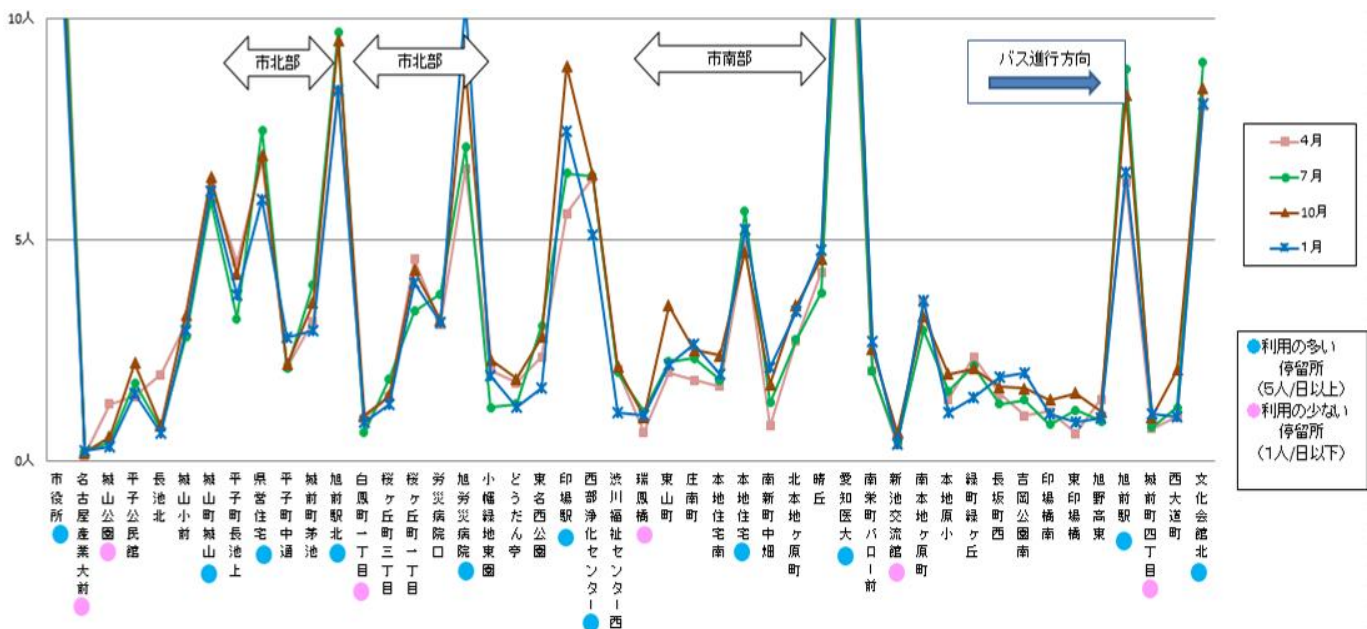
エ 西ルート（左回り）【降車】

降車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「城山町城山」「県営住宅」「旭前駅北」「旭労災病院」「印場駅」「西部浄化センター」「晴丘」「愛知医大」「旭前駅」「文化会館北」となっており、「右回り」の「乗車」と類似した傾向が見られます。

一方、降車の少ない停留所（1人/日未満）は、「名古屋産業大前」「城山公園」「新池交流館」「東印場橋」となっています。



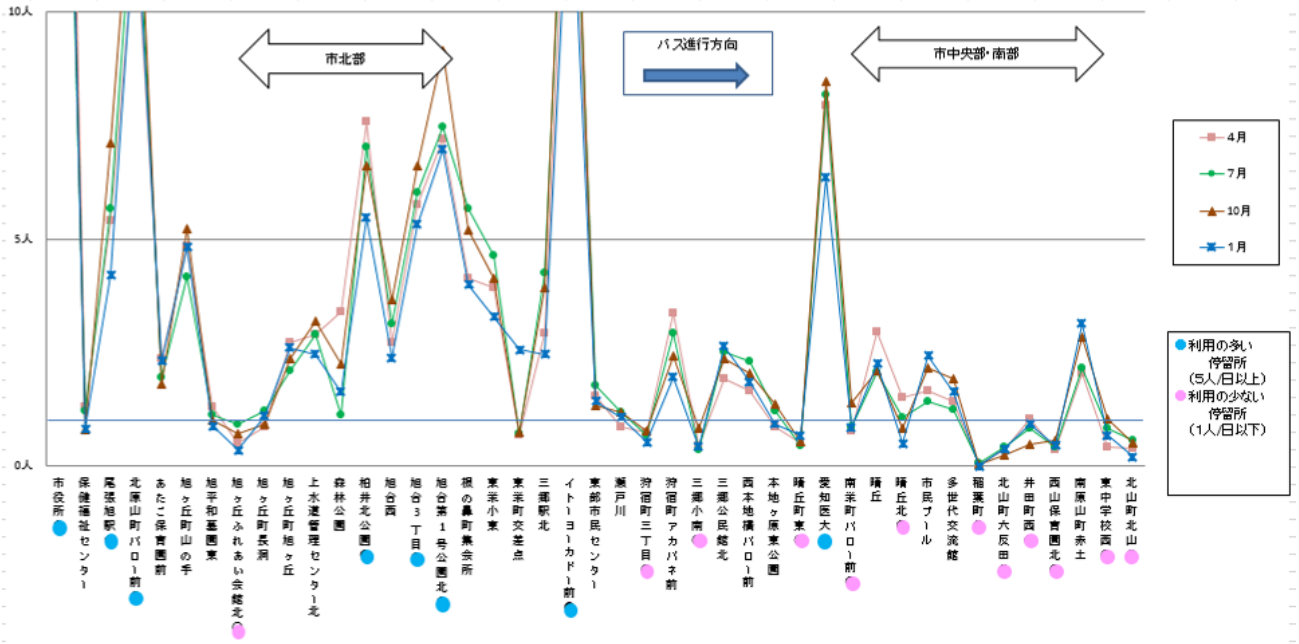
参考 平成29年度西ルート左回り利用状況【降車】



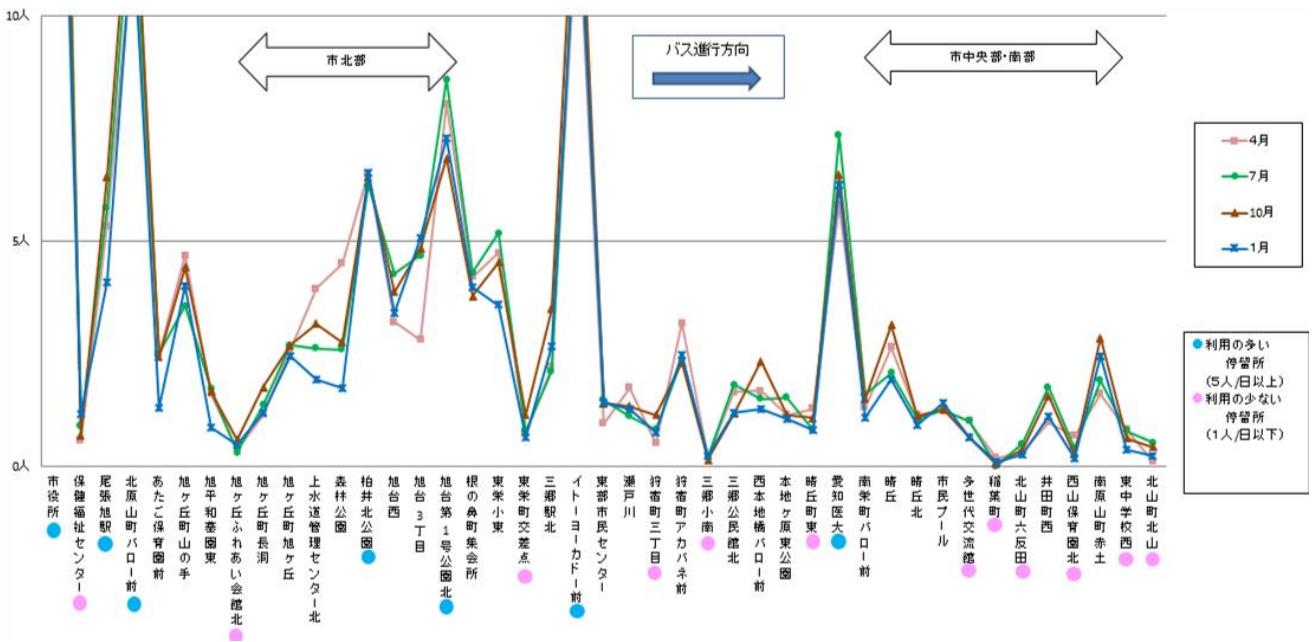
オ 東ルート（右回り）【乗車】

乗車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「尾張旭駅」「北原山町パロー前」「柏井北公園」「旭台3丁目」「旭台第1号公園北」「イトーヨーカドー前」「愛知医大」となっており、市北部の住宅地での利用数が比較的高い傾向にあります。

一方、乗車の少ない停留所（1人/日未満）は、「旭ヶ丘ふれあい会館北」「狩宿町三丁目」「三郷小南」「晴丘町東」「晴丘北」「稲葉町」「北山町六反田」「井田町西」「西山保育園北」「東中学校西」「北山町北山」となっており、市南部や中央部での利用数が少ない傾向にあります。



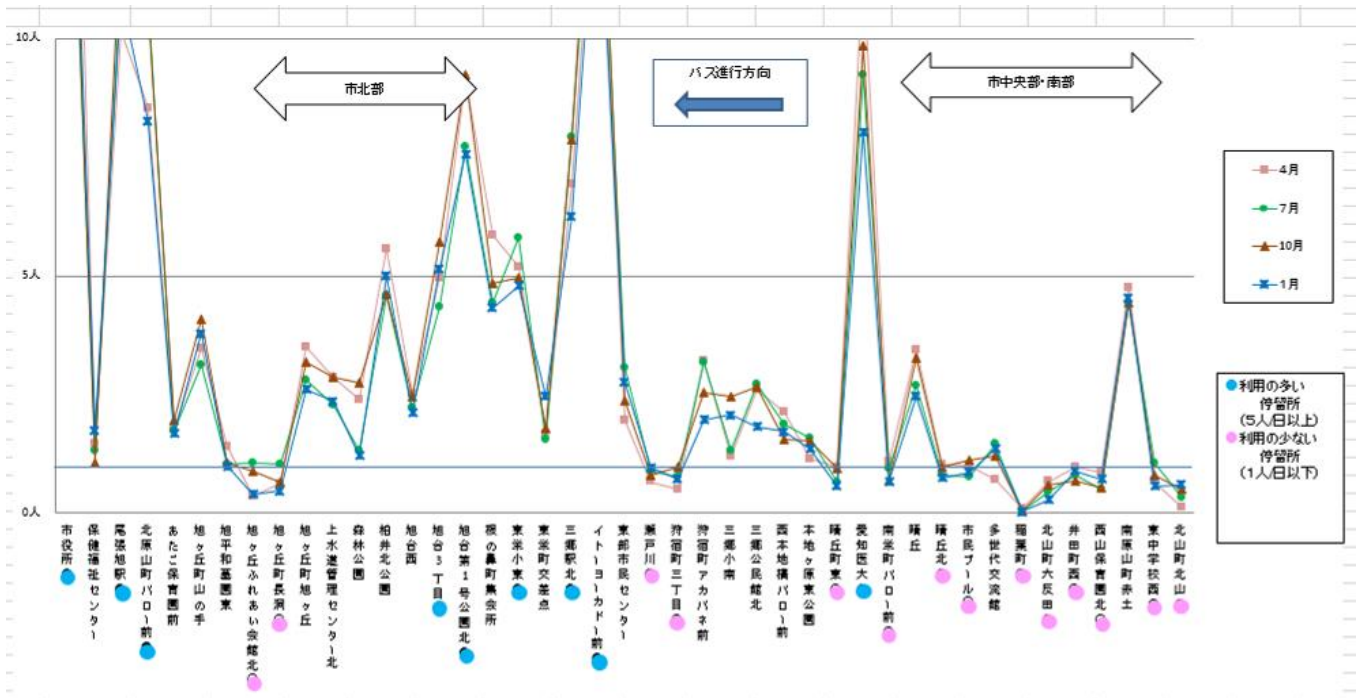
参考 平成29年度東ルート右回り利用状況【乗車】



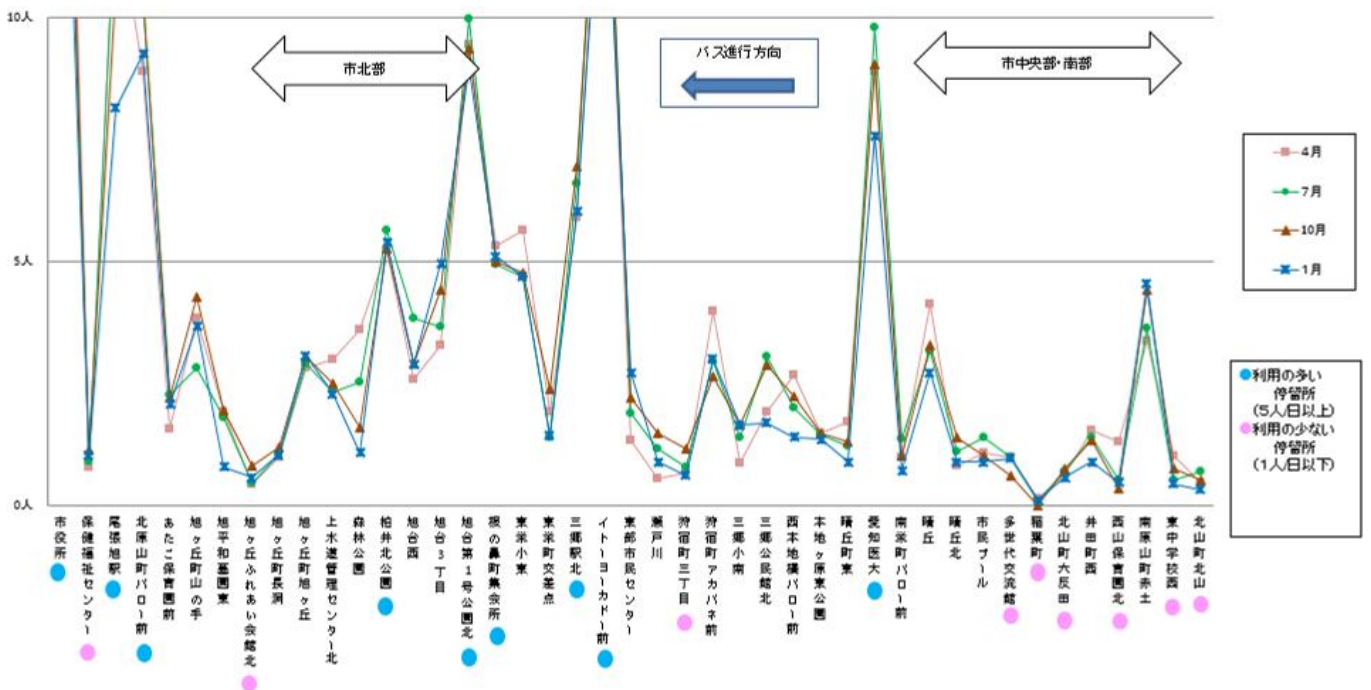
ク 東ルート（左回り）【降車】

降車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「尾張旭駅」「北原山町パ
ロー前」「旭台3丁目」「旭台第1号公園北」「東栄小東」「三郷駅北」「イト
ーヨーカドー前」「愛知医大」となっています。

一方、降車の少ない停留所（1人/日未満）は、「旭ヶ丘ふれあい会館北」
「旭ヶ丘町長洞」「瀬戸川」「狩宿町三丁目」「晴丘町東」「晴丘北」「市民プ
ール」「稲葉町」「北山町六反田」「井田町西」「西山保育園北」「東中学校
西」「北山町北山」となっており、やはり市中央部での利用数が少ない傾向にあ
ります。



参考 平成29年度東ルート左回り利用状況【降車】



以上の結果により、西ルート及び東ルートの右回り及び左回りの乗車、降車ともに、その利用状況は、北部地域での利用者数が多く、中央部地域や南部地域での利用者数が比較的少ない状況にあります。

平成29年4月～平成30年3月の利用状況と平成30年4月～平成31年3月までの利用状況を比較すると、全体で利用者数が増えていることから、グラフ全体が若干ですが底上げされています。なお、ルート変更や停留所位置の変更が行われていないため、停留所別ではグラフの形状がほとんど同じであり、バス利用者の移動実態に大きな変動がないと考えられます。

▽ 住宅地における停留所の利用については、城山町、平子町、旭ヶ丘町、旭台といった市北部の丘陵地域にある住宅地に加え、南本地ヶ原、緑町緑ヶ丘、本地住宅といった南部での利用が多いのに対し、井田町、瀬戸川町、北山町といった市中央部の住宅地や稲葉町では少数にとどまっています。

市北部及び南部の住宅地から鉄道駅や商業施設のある市中央部へ向かうためあさび一号が利用されていることが分かります。

▽ 「市役所」停留所は、最も利用者数が多い停留所となっています。ここでは、東西ルートの起終点となっており、市役所、体育館などの施設や尾張旭駅に隣接していることが多い理由と考えられます。

▽ 「本地住宅」停留所も利用者が増えております。これは、平成28年度の運行内容変更に合わせて、名古屋市営バス本地ヶ原住宅ターミナル内に停留所を移設したことから、主に藤が丘方面への乗り継ぎとして利用されていることが考えられます。

▽ 「旭労災病院」や「愛知医大」などの病院に隣接した停留所の利用は、乗車、降車ともに多く、これらの停留所は、通院などに市営バスを利用する人にとって重要な停留所となっています。特に「愛知医大」は大幅に利用者が増加しており、ダイヤ改正による遅延減少やロータリー乗入れによる利便性向上によるものと考えられます。

▽ イトーヨーカドーの施設内に設置した「イトーヨーカドー前」の利用者数も「右回り」「左回り」とともに多く、こちらも重要な停留所となっています。

▽ 市中央部の停留所については、西ルートの「西大道町」や東ルートの「稲葉町」のように利用が少ない箇所もありますが、西ルートの「文化会館北」停留所は「右回り」の「乗車」と「左回り」の「降車」の利用が増えています。ここでは、アスカでの買い物のために利用されていると考えられます。

(6) ルート別の停留所利用の状況

平成30年4月から平成31年3月までの間の、各ルートにおける停留所の利用状況（1日あたり平均利用者数）の結果は次のとおりとなりました。

○ 西ルート（右回り）

番号	停留所	乗車
1	市役所	21.7
2	愛知医大	16.9
3	旭労災病院	11.3
4	旭前駅	9.2
5	西部浄化センター	6.6
6	本地住宅	5.4
7	県営住宅	5.3
8	南栄町バロー前	5.2
9	文化会館北	5.2
10	城前町茅池	5.1
11	城山町城山	5.1
12	旭前駅北	5.0
13	印場駅	4.6
14	平子町長池上	4.6
15	緑町緑ヶ丘	4.2
16	北本地ヶ原町	4.2
17	晴丘	3.5
18	南新町中畑	3.0
19	労災病院口	3.0
20	南本地ヶ原町	3.0
21	桜ヶ丘町一丁目	2.9
22	東山町	2.9
23	平子町中通	2.7
24	小幡緑地東園	2.4
25	本地原小	2.3
26	東名西公園	2.3
27	東印場橋	2.3
28	桜ヶ丘町三丁目	2.0
29	城山小前	2.0
30	庄南町	1.9
31	長坂町西	1.7
32	長池北	1.6
33	印場橋南	1.6
34	吉岡公園南	1.5
35	平子公民館	1.5
36	旭野高東	1.5
37	本地住宅南	1.4
38	城前町四丁目	1.3
39	どうだん亭	1.3
40	白鳳町一丁目	1.2
41	西大道町	1.1
42	瑞鳳橋	1.0
43	渋川福祉センター西	0.7
44	新池交流館	0.6
45	城山公園	0.6
46	名古屋産業大前	0.3

番号	停留所	降車
1	市役所	38.7
2	愛知医大	16.3
3	本地住宅	10.4
4	旭労災病院	9.5
5	印場駅	8.4
6	旭前駅北	5.9
7	緑町緑ヶ丘	5.3
8	本地原小	4.8
9	西部浄化センター	4.6
10	県営住宅	4.5
11	平子町中通	3.9
12	城山町城山	3.8
13	旭前駅	3.6
14	南本地ヶ原町	3.5
15	南栄町バロー前	3.1
16	新池交流館	3.0
17	南新町中畑	2.8
18	印場橋南	2.7
19	庄南町	2.5
20	本地住宅南	2.5
21	平子町長池上	2.4
22	東山町	2.4
23	渋川福祉センター西	2.3
24	桜ヶ丘町一丁目	2.1
25	小幡緑地東園	1.9
26	吉岡公園南	1.7
27	東名西公園	1.6
28	城前町茅池	1.6
29	どうだん亭	1.5
30	名古屋産業大前	1.5
31	労災病院口	1.3
32	晴丘	1.2
33	長坂町西	1.2
34	東印場橋	1.1
35	北本地ヶ原町	1.1
36	城前町四丁目	1.1
37	白鳳町一丁目	1.0
38	城山小前	1.0
39	平子公民館	1.0
40	瑞鳳橋	1.0
41	桜ヶ丘町三丁目	0.9
42	城山公園	0.7
43	長池北	0.7
44	旭野高東	0.6
45	文化会館北	0.5
46	西大道町	0.3

○ 西ルート（左回り）

番号	停留所	乗車
1	市役所	45.5
2	愛知医大	14.2
3	旭労災病院	12.6
4	本地住宅	11.1
5	印場駅	7.5
6	県営住宅	6.3
7	城山町城山	6.1
8	西部浄化センター	5.1
9	旭前駅北	4.6
10	南栄町パロ一前	3.8
11	平子町長池上	3.8
12	平子町中通	3.3
13	本地原小	3.2
14	緑町緑ヶ丘	3.1
15	旭前駅	3.0
16	本地住宅南	2.6
17	南新町中畑	2.6
18	印場橋南	2.4
19	南本地ヶ原町	2.3
20	平子公民館	2.3
21	小幡緑地東園	2.3
22	城前町茅池	2.3
23	吉岡公園南	2.2
24	東山町	2.0
25	桜ヶ丘町一丁目	1.9
26	庄南町	1.8
27	名古屋産業大前	1.8
28	晴丘	1.7
29	東名西公園	1.7
30	渋川福祉センター西	1.6
31	城山小前	1.5
32	長坂町西	1.4
33	白鳳町一丁目	1.3
34	労災病院口	1.3
35	新池交流館	1.2
36	どうだん亭	1.1
37	北本地ヶ原町	1.1
38	瑞鳳橋	0.8
39	長池北	0.7
40	城山公園	0.7
41	旭野高東	0.7
42	桜ヶ丘町三丁目	0.6
43	城前町四丁目	0.3
44	東印場橋	0.1
45	西大道町	0.1
46	文化会館北	0.0

番号	停留所	降車
1	愛知医大	15.2
2	市役所	13.2
3	旭前駅北	11.1
4	旭労災病院	9.4
5	旭前駅	9.1
6	印場駅	8.7
7	文化会館北	8.4
8	城山町城山	6.6
9	西部浄化センター	6.5
10	県営住宅	6.0
11	晴丘	6.0
12	本地住宅	5.0
13	城前町茅池	4.5
14	平子町長池上	4.4
15	桜ヶ丘町一丁目	4.3
16	南本地ヶ原町	3.5
17	城山小前	3.4
18	労災病院口	3.2
19	北本地ヶ原町	3.2
20	平子町中通	3.1
21	庄南町	3.0
22	東山町	2.7
23	南栄町パロ一前	2.7
24	本地住宅南	2.5
25	緑町緑ヶ丘	2.5
26	南新町中畑	2.4
27	小幡緑地東園	2.3
28	東名西公園	1.9
29	本地原小	1.9
30	どうだん亭	1.9
31	平子公民館	1.9
32	桜ヶ丘町三丁目	1.8
33	吉岡公園南	1.6
34	渋川福祉センター西	1.5
35	旭野高東	1.4
36	西大道町	1.3
37	瑞鳳橋	1.2
38	城前町四丁目	1.2
39	長坂町西	1.1
40	長池北	1.1
41	印場橋南	1.0
42	白鳳町一丁目	1.0
43	東印場橋	0.9
44	城山公園	0.6
45	新池交流館	0.4
46	名古屋産業大前	0.3

○ 東ルート（右回り）

番号	停留所	乗車
1	市役所	24.9
2	イトヨーカドー前	15.7
3	北原山町バロー前	13.2
4	旭台第1号公園北	7.7
5	愛知医大	7.4
6	柏井北公園	7.1
7	旭台3丁目	6.2
8	尾張旭駅	5.6
9	旭ヶ丘町山の手	4.8
10	根の鼻町集会所	4.6
11	東栄小東	3.9
12	三郷駅北	3.4
13	旭台西	3.3
14	上水道管理センター北	2.9
15	狩宿町アカバネ前	2.7
16	旭ヶ丘町旭ヶ丘	2.6
17	三郷公民館北	2.6
18	南原山町赤土	2.5
19	森林公園	2.4
20	晴丘	2.1
21	西本地橋バロー前	2.0
22	あたご保育園前	1.9
23	市民プール	1.9
24	多世代交流館	1.5
25	東部市民センター	1.5
26	東栄町交差点	1.3
27	瀬戸川	1.3
28	旭平和墓園東	1.2
29	本地ヶ原東公園	1.1
30	南栄町バロー前	1.1
31	旭ヶ丘町長洞	1.0
32	井田町西	1.0
33	晴丘北	0.9
34	保健福祉センター	0.9
35	狩宿町三丁目	0.8
36	東中学校西	0.8
37	晴丘町東	0.6
38	旭ヶ丘ふれあい会館北	0.6
39	西山保育園北	0.4
40	三郷小南	0.4
41	北山町北山	0.4
42	北山町六反田	0.4
43	稲葉町	0.0

番号	停留所	降車
1	イトヨーカドー前	23.8
2	三郷駅北	17.6
3	市役所	13.7
4	愛知医大	12.3
5	旭ヶ丘町山の手	9.7
6	狩宿町アカバネ前	5.4
7	南原山町赤土	4.7
8	あたご保育園前	3.5
9	晴丘	3.3
10	本地ヶ原東公園	3.2
11	西本地橋バロー前	3.1
12	東栄小東	2.9
13	狩宿町三丁目	2.8
14	旭ヶ丘町旭ヶ丘	2.7
15	旭台3丁目	2.6
16	三郷公民館北	2.6
17	北原山町バロー前	2.2
18	東栄町交差点	2.2
19	上水道管理センター北	2.1
20	南栄町バロー前	1.9
21	柏井北公園	1.9
22	東部市民センター	1.8
23	旭ヶ丘町長洞	1.7
24	旭平和墓園東	1.7
25	旭ヶ丘ふれあい会館北	1.6
26	旭台第1号公園北	1.6
27	森林公園	1.6
28	瀬戸川	1.5
29	根の鼻町集会所	1.5
30	旭台西	1.4
31	北山町北山	1.3
32	井田町西	1.3
33	晴丘町東	1.2
34	東中学校西	1.2
35	多世代交流館	0.9
36	晴丘北	0.8
37	西山保育園北	0.8
38	北山町六反田	0.6
39	稲葉町	0.4
40	三郷小南	0.3
41	市民プール	0.3
42	尾張旭駅	0.1
43	保健福祉センター	0.0

○ 東ルート（左回り）

番号	停留所	乗車
1	イトーヨーカドー前	30.9
2	市役所	16.9
3	愛知医大	14.7
4	三郷駅北	8.2
5	旭ヶ丘町山の手	7.8
6	狩宿町アカバネ前	5.9
7	南原山町赤土	4.4
8	晴丘	4.2
9	西本地橋バロー前	4.1
10	南栄町バロー前	4.0
11	本地ヶ原東公園	3.5
12	三郷公民館北	2.9
13	あたご保育園前	2.8
14	旭ヶ丘町旭ヶ丘	2.7
15	旭台3丁目	2.6
16	北山町北山	2.2
17	狩宿町三丁目	2.2
18	旭ヶ丘町長洞	2.1
19	北原山町バロー前	2.1
20	上水道管理センター北	2.1
21	柏井北公園	2.0
22	瀬戸川	1.9
23	東栄小東	1.7
24	東中学校西	1.7
25	旭平和墓園東	1.6
26	晴丘町東	1.6
27	旭台第1号公園北	1.6
28	森林公園	1.5
29	東部市民センター	1.5
30	多世代交流館	1.4
31	旭台西	1.4
32	旭ヶ丘ふれあい会館北	1.4
33	東栄町交差点	1.2
34	井田町西	1.1
35	西山保育園北	1.1
36	市民プール	1.0
37	根の鼻町集会所	1.0
38	晴丘北	0.8
39	稲葉町	0.6
40	北山町六反田	0.3
41	三郷小南	0.2
42	尾張旭駅	0.0
43	保健福祉センター	0.0

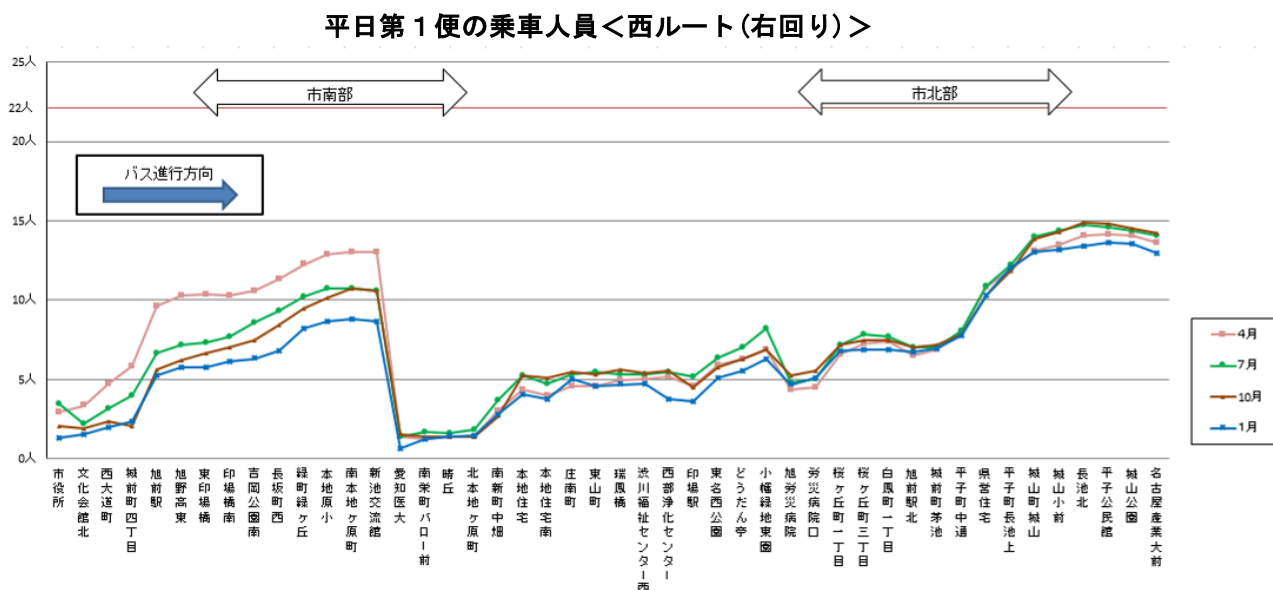
番号	停留所	降車
1	市役所	18.1
2	イトーヨーカドー前	15.4
3	尾張旭駅	11.5
4	北原山町バロー前	9.7
5	愛知医大	9.3
6	旭台第1号公園北	8.6
7	三郷駅北	7.3
8	東栄小東	5.3
9	柏井北公園	5.1
10	旭台3丁目	5.1
11	根の鼻町集会所	4.9
12	南原山町赤土	4.5
13	旭ヶ丘町山の手	3.8
14	旭ヶ丘町旭ヶ丘	3.1
15	狩宿町アカバネ前	2.8
16	晴丘	2.7
17	旭台西	2.6
18	上水道管理センター北	2.6
19	三郷公民館北	2.6
20	東部市民センター	2.5
21	東栄町交差点	2.2
22	森林公園	1.9
23	西本地橋バロー前	1.9
24	あたご保育園前	1.8
25	三郷小南	1.7
26	本地ヶ原東公園	1.6
27	多世代交流館	1.2
28	保健福祉センター	1.2
29	旭平和墓園東	1.2
30	瀬戸川	1.0
31	井田町西	0.9
32	市民プール	0.9
33	南栄町バロー前	0.9
34	狩宿町三丁目	0.8
35	晴丘町東	0.8
36	旭ヶ丘ふれあい会館北	0.8
37	晴丘北	0.8
38	東中学校西	0.8
39	西山保育園北	0.7
40	旭ヶ丘町長洞	0.7
41	北山町六反田	0.5
42	北山町北山	0.4
43	稲葉町	0.1

(7) 平日第1便の平均乗車人員の状況

平成30年4月、7月、10月及び平成31年1月における、西ルート及び東ルートの便別利用者数が多い平日第1便の平均乗車人員を、それぞれグラフで示しました。なお、グラフの数値はバスが各停留所を発車した際のバス車内の平均乗車人員を表し、赤線はバス車両の定員（西ルートは22人、東ルートは26人）を表しております。

ア 西ルート（右回り）

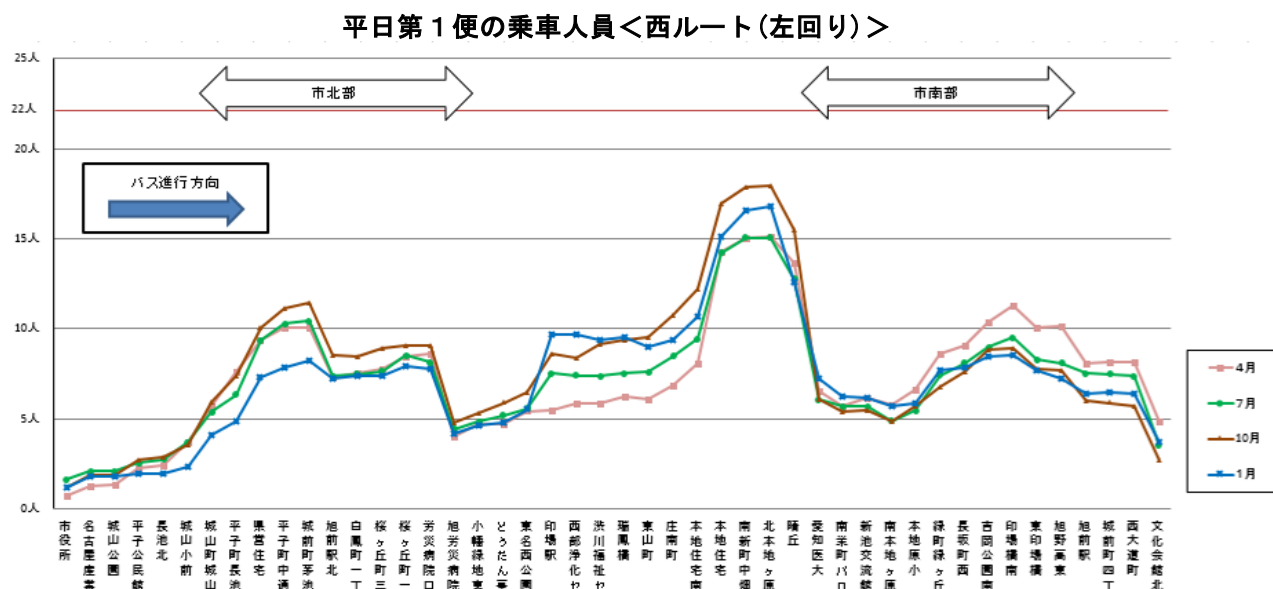
「県営住宅」～「市役所」間で平均乗車人員が多くなっており、市北部の住宅地から「市役所」への利用が多い傾向にあります。



イ 西ルート（左回り）

「本地住宅」～「愛知医大」間で平均乗車人員が多くなっており、平均乗車数が15人を超えており20人に迫るなど、積み残しが発生する可能性が高くなっている傾向にあります。

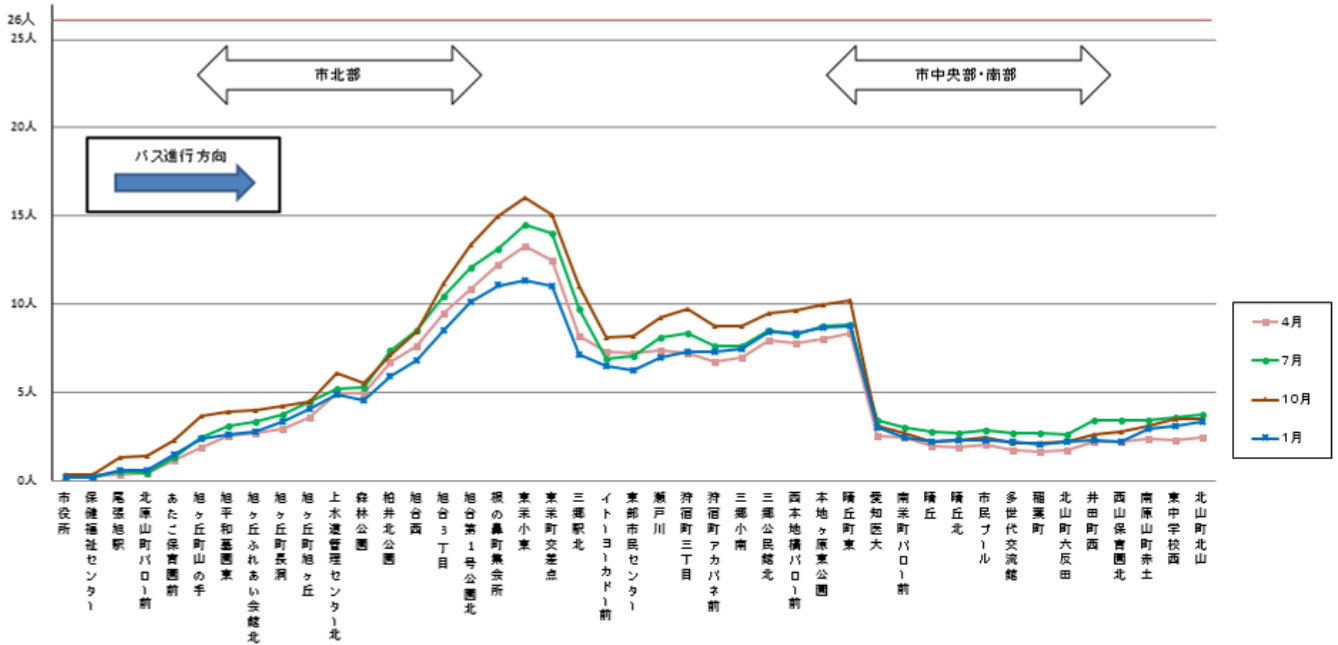
また、「平子町長池上」～「旭労災病院」間も乗車人員が多く、市北部の住宅地から「旭前駅北」や「旭労災病院」への利用もある状況です。



ウ 東ルート（右回り）

「柏井北公園」～「イトーヨーカドー前」間で平均乗車人員が多くなっており、市北部の住宅地から「三郷駅北」や「イトーヨーカドー前」「愛知医大」への利用が多い傾向にあります。

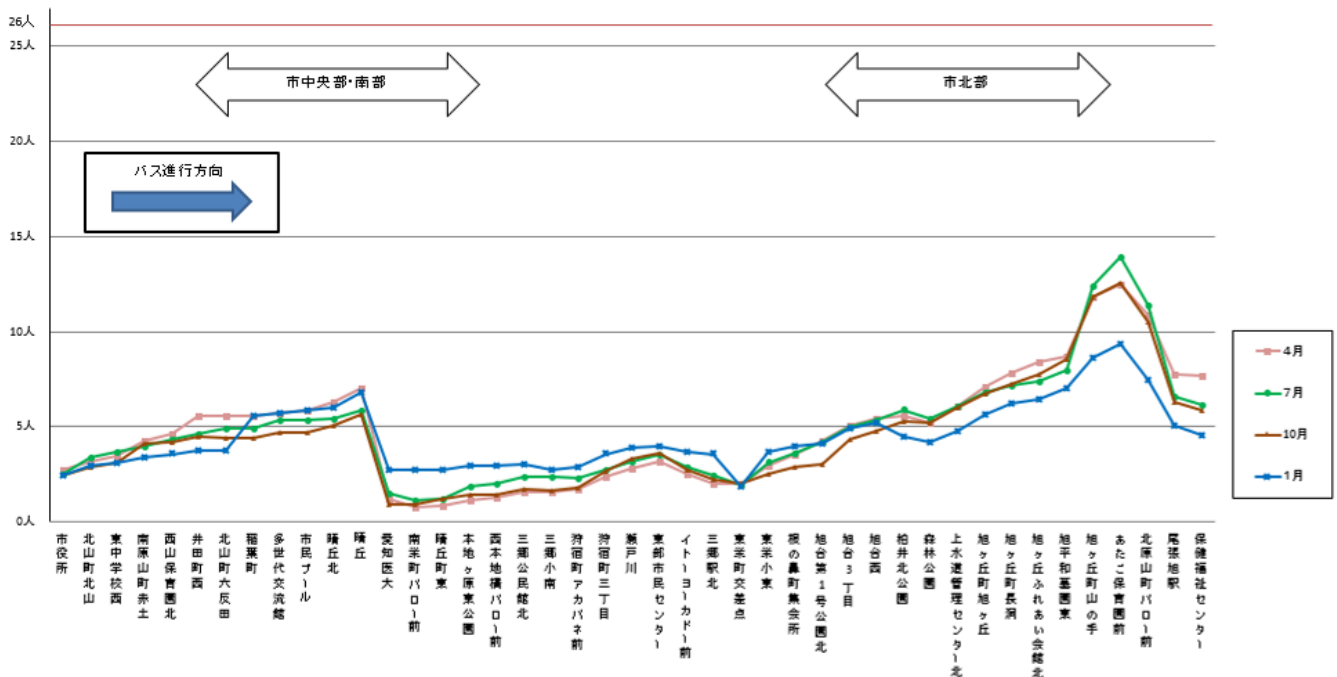
平日第1便の乗車人員<東ルート(右回り)>



エ 東ルート（左回り）

「旭ヶ丘町山の手」～「尾張旭駅」間で平均乗車人員が多くなっており、市北部の住宅地から「北原山バロー前」「尾張旭駅」「市役所」への利用が多い傾向にあります。

平日第1便の乗車人員<東ルート(左回り)>



以上の結果により、西ルート及び東ルートの便別利用者数が多い平日第1便においては、北部地域から市中央部や主要な病院までの区間や、南西部地域から愛知医大までの区間で乗車人員が多い状況にあります。

▽ どのルートでも北部地域の住宅地における停留所から多くの利用者が乗車し、徐々に平均乗車人員が多くなっています。

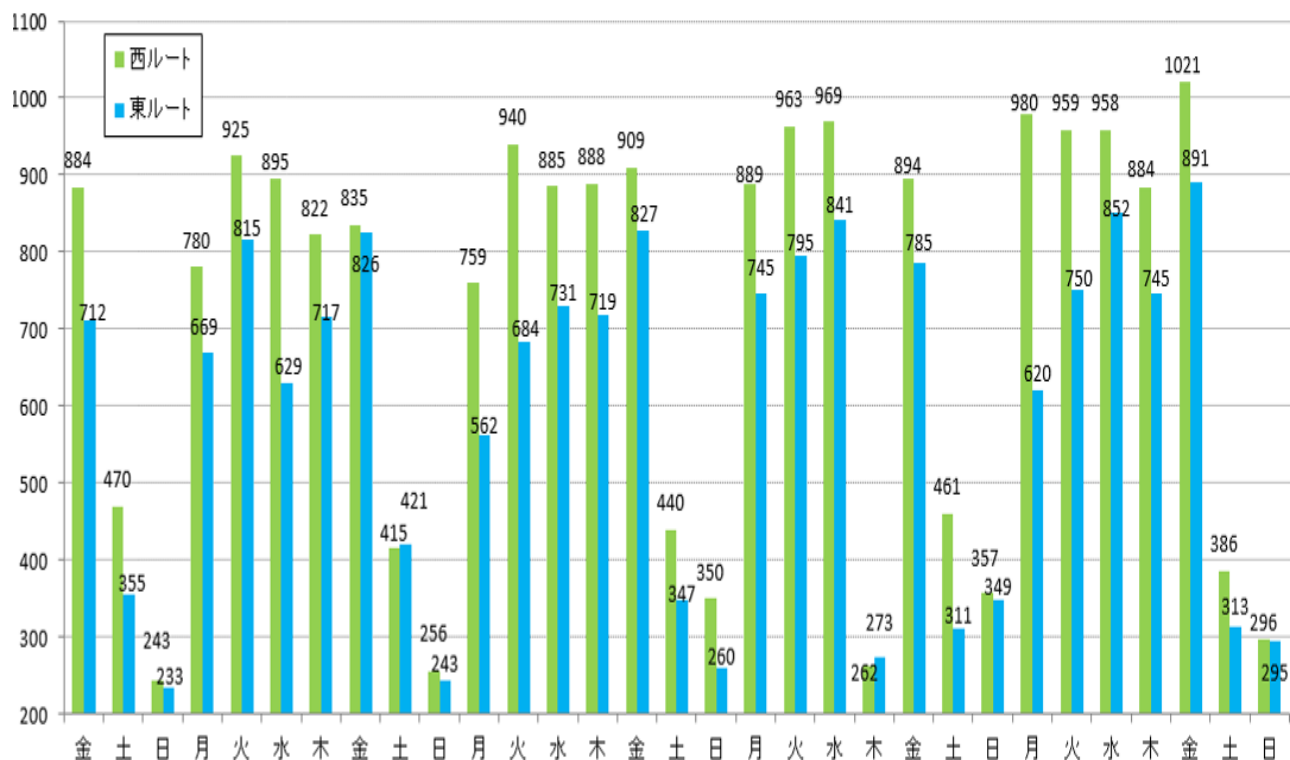
▽ 「市役所」「尾張旭駅」「旭前駅北」「旭労災病院」「愛知医大」「三郷駅北」「イトーヨーカドー前」などの停留所で多くの利用者が降車し、各停留所を過ぎてからは平均乗車人員が少なくなっています。

▽ 平成28年には運行本数を増加したことにより、利用者が分散し平均乗車人員が低下したものの、利用者の増加により、西ルート左回りの「本地住宅」～「愛知医大」間では平均乗車人員が15人を超え、バスの乗車定員に近づいていることから、積み残しが発生する可能性があると考えられます。

(8) 曜日別利用者数の状況

平成31年3月の1か月間の利用者数をグラフで示しました。

平成28年度より日曜日の運行を開始しましたが、土・休日ともに利用者数が年々増加してきており、特に土曜日は1便あたりに換算すると平日と同等の利用者数となっています。



※西ルート、東ルートの乗車降車の合計値にて作成

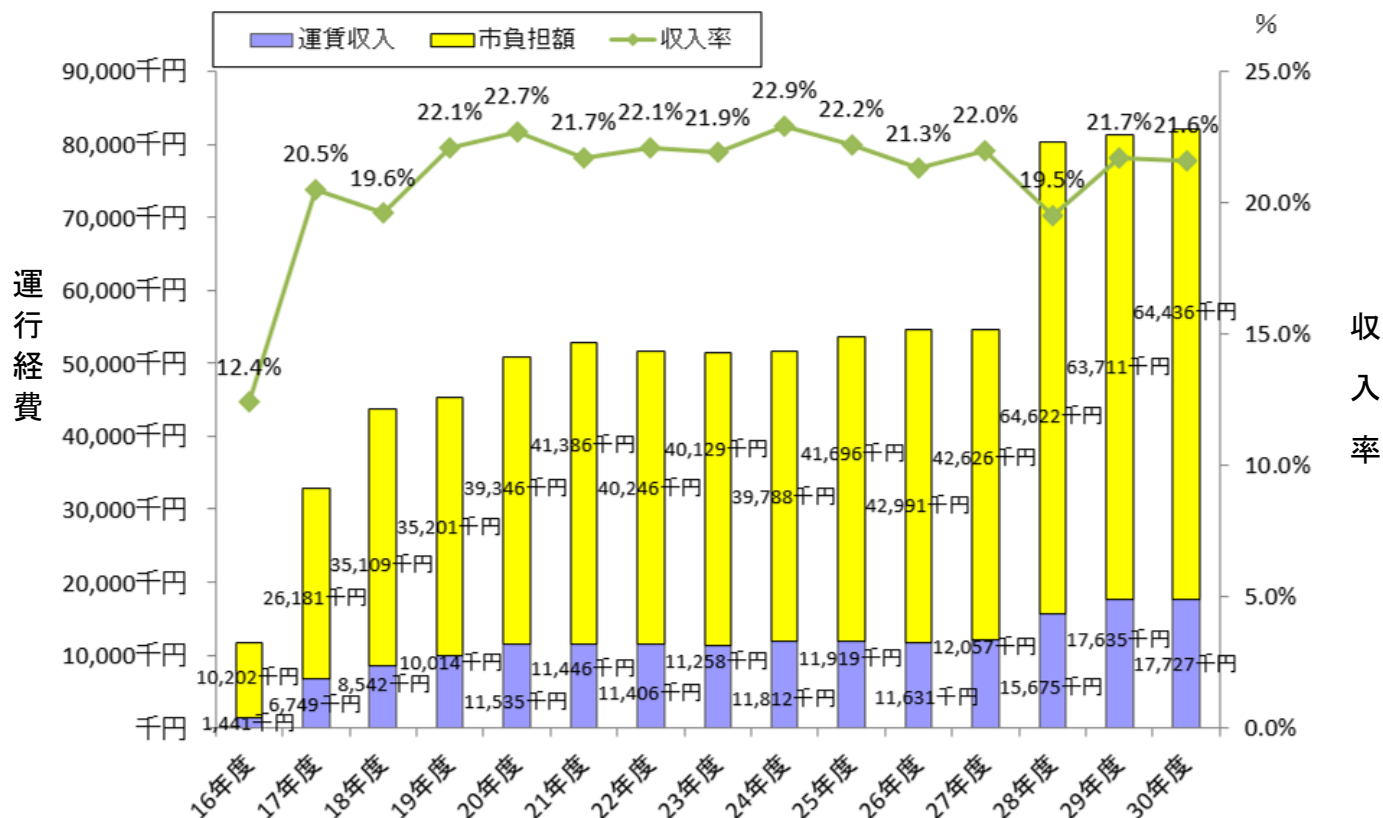
参考 曜日別利用状況【平成30年3月】



4 市営バスの運行経費の状況

(1) 市営バスの運行経費の状況

平成21年度以降、収入率においては22%前後を推移していましたが、平成28年度に運行内容を変更し、運行本数等が増加したことから、収入率が20%を切りましたが、平成29年度以降は利用者が増加したことから収入率が22%近くを推移しています。



- ※ 平成16年度は12月からの4か月間（3ルート、ジャンボタクシーでの運行）
- ※ 平成18年度は8月から4ルートでの運行、マイクロバスでの無償運行等を実施
- ※ 平成19年度は12月から2台をマイクロバスに変えて運行
- ※ 平成20年度は10月から2ルート循環型に変更して運行
- ※ 平成20年度からは、指定管理者制度を導入。また障がい者本人の運賃を無料化
- ※ 市負担額に平成23年度からは東ルート、平成29年度からは西ルート運行経費に対する国庫補助を含む

参考 利用者一人当たりの運行経費推移

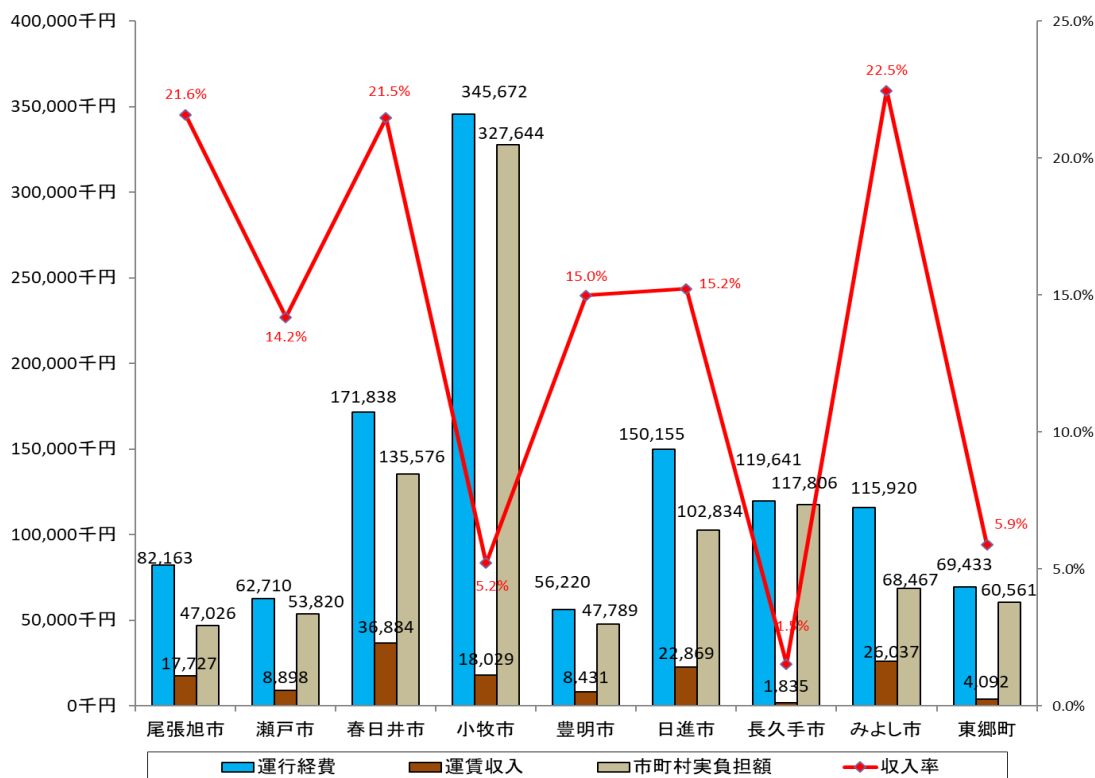
単位：人、円

年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
利用者数	14,995	70,540	86,793	107,263	132,653	135,625	138,273	141,731
利用者一人当たりの運行経費	776	467	503	422	384	390	374	363
年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
利用者数	148,868	153,553	152,693	157,319	200,168	229,849	236,096	
利用者一人当たりの運行経費	347	349	358	348	401	353	348	

(2) 近隣市町のコミュニティバス運行経費等の状況

近隣市町のコミュニティバスにおける平成30年度の運行経費などの状況は、次のとおりです。

○ 運行経費等の状況

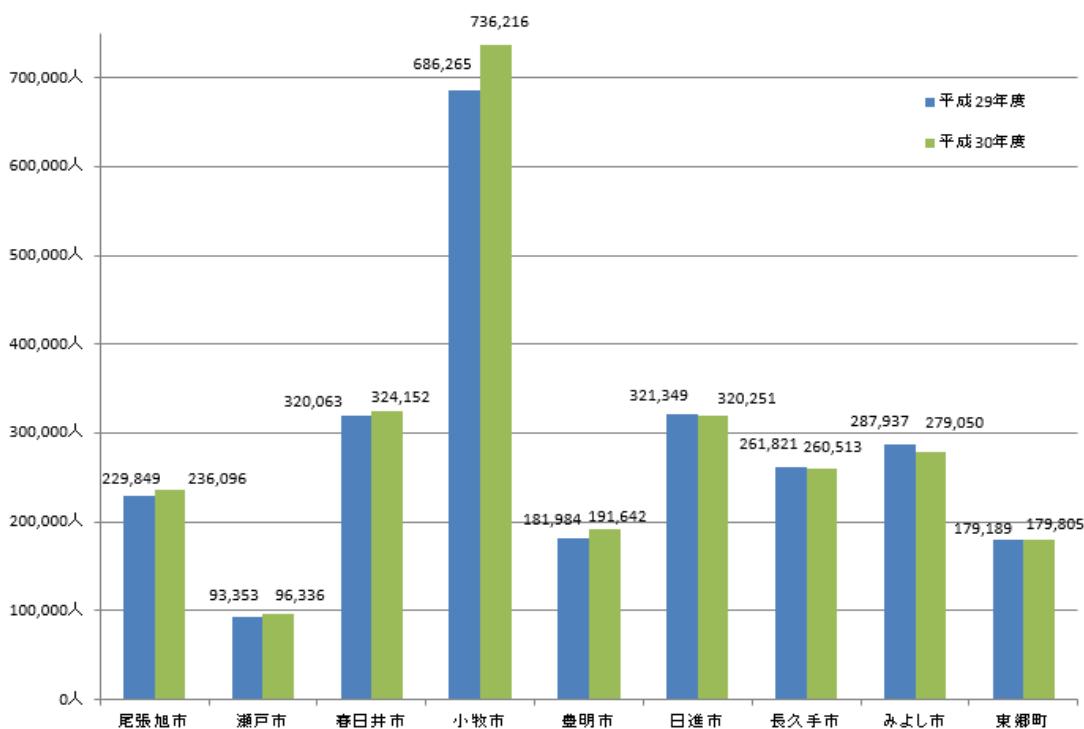


※ 「愛知県内の市町村における自主運行バス等の運行状況について（県地域振興部交通対策課）」より

- 注) ・各市町により、基本運賃や運賃特例などに違いがあるため、一概に数値のみの比較は難しい。
 ・全市町、市町村が主体となって乗合事業者に運行を委託しているもの（道路運送法4条許可による運行）
 ・国県からの補助を含む場合、運行経費と運賃収入+市町村実負担額が一致しない。

○ 年間利用者数

単位：人



○ 近隣市町のコミュニティバスの内容（平成30年度）

市町村名	バス等の愛称	運行目的	委託事業者名
瀬戸市	瀬戸市コミュニティバス	交通空白地区の解消	瀬戸自動車運送㈱
春日井市	かすがいシティバス (はあとふるライナー)	公共交通空白地域の解消 屋間帯の移動手段の確保による日常生活の利便性向上	名鉄バス㈱
小牧市	こまき巡回バス	交通空白地区の解消 公共施設の利用促進	あおい交通(株)
豊明市	ひまわりバス	交通弱者の社会参加促進 公共施設への利便性の向上 交通空白地区の解消	名鉄バス㈱
日進市	くるりんばす	公共交通空白地域の解消 市民の社会参加・交流の促進	名鉄バス㈱
長久手市	Nーバス	交通空白地区の解消 公共施設への利便性向上 交通弱者の社会参加促進 子育て支援 通勤・通学者の朝夕の利便性の向上	名鉄バス㈱
みよし市	さんさんバス	交通空白地区の解消 交通弱者の社会参加支援 公共施設への利便性向上 地域間の交流促進 交通の安全と円滑化の促進	愛知つばめ交通㈱
東郷町	じゅんかい君	交通空白地区の解消	瀬戸自動車運送㈱
尾張旭市	あさび一号	交通空白地区の解消	豊栄交通(株)

市町村名	路線数	使用車両台数	基本運行日	1日運行回数	基本運賃	運賃特例
瀬戸市	8本	5台	毎日 (年末年始を除く) 外	6回 外	100円	障害者は半額、身体障害者手帳等所持者は、付添も半額 1歳未満児無料 1歳以上6歳未満児は6歳以上に同伴同伴される場合無料(2名まで)
春日井市	4本	8台	毎日 (年末年始を除く)	15回 外	200円	未就学児、障がい者(手帳所持者)とその付添人1名まで無料 小人、運転免許自主返納者カード、高齢者カード、マタニティカード所持者所持者100円
小牧市	19本	18台	毎日 (年末年始を除く)	13回 外	200円	乗継自由。小学生半額。幼児(小学生未満)、65歳以上無料。 ※身体障害者手帳等を提示すれば本人及び付添1名無料。 ※ピーチバス等の定期券を提示すれば無料。
豊明市	7本	3台	毎日 (年末年始を除く)	5回 外	100円	市内在住で中学生以下・身体障害者手帳等を携帯している方と付き添いの方1名無料
日進市	7本	7台	毎日 (年末年始を除く)	11回 外	200円 外	他のコースへ当日乗り継ぐ場合、1回のみ100円割引。中学生以下の子ども、身体障害者手帳等所持者、介護保険法による介護認定を受けている者及びその付き添い1名は無料。運転免許自主返納者は3か月間無料。
長久手市	9本	6台	毎日 (年末年始を除く)	12回 外	100円	中学生以下、未就学児1人につき付添1人、妊婦、身体障害者手帳等所有者と付添1名、市発行「あつたかあど」携帯者(高齢者・障害者用)無料
みよし市	3本	7台	毎日 (年中無休)	12.5回	100円	未就学児、介助者、バス乗合タクシー間の乗り継ぎ無料
東郷町	4本	4台	毎日 (年末年始を除く)	12回 外	100円	障害者と付添1人、中学生以下の子ども、65歳以上無料
尾張旭市	2本	6台	毎日 (年末年始を除く)	9回 外	100円	未就学児及び障害者無料(障害者の付添も1名まで無料)

5 市営バス運行に対する市民意識

より利用しやすい市営バスの運行を行うためには、市営バスの利用状況の調査・分析を行うとともに、市民ニーズや意見・提言等を把握して、現在の運行内容における課題・問題点を整理することが必要であると考えられます。

○ 利用者アンケート

利用者からの意見収集により、市営バス運行に係る利用者の属性と利用状況を明らかにし、運行の課題等を抽出することを目的として、下記のとおり利用者アンケートを実施しました。

1 調査期日

平成30年12月13日（木）（天候：晴れ）

【(参考)平成29年度調査】

平成29年12月14日（木）（天候：晴れ）

2 調査方法

調査員（市都市計画課、豊栄交通株式会社）がバスに同乗し、調査期日の利用者に対して、アンケート調査表（様式参照）を配布し、車内に設置したアンケート回収箱により回収しました。

（回収期間：12月14日～28日）

3 回収結果

(1) 西ルート（右回り）	配布枚数	112 枚	回収枚数	99 枚
(2) 西ルート（左回り）	配布枚数	112 枚	回収枚数	81 枚
(3) 東ルート（右回り）	配布枚数	77 枚	回収枚数	67 枚
(4) 東ルート（左回り）	配布枚数	96 枚	回収枚数	87 枚
合計	配布枚数	397 枚	回収枚数	334 枚 (回収率 84.1%)

⑪	目的地	_____	※ 本日の目的地について差し支えなければお答えください。 例) 市役所、〇〇ストア〇〇店、〇〇病院 地名、駅名等でも結構です。																
⑫	お出かけとお帰りの交通手段 (それぞれ2つまで)	お出かけ⇒ お帰り ⇒	<table border="0"> <tr> <td>1</td><td>あさぴー号</td><td>2</td><td>自動車</td><td>3</td><td>タクシー</td><td>4</td><td>自転車</td> </tr> <tr> <td>5</td><td>電車</td><td>6</td><td>徒歩</td><td>7</td><td>あさぴー号以外のバス</td><td>8</td><td>その他</td> </tr> </table>	1	あさぴー号	2	自動車	3	タクシー	4	自転車	5	電車	6	徒歩	7	あさぴー号以外のバス	8	その他
1	あさぴー号	2	自動車	3	タクシー	4	自転車												
5	電車	6	徒歩	7	あさぴー号以外のバス	8	その他												

Q. あさぴー号運行の内容について項目ごとに5段階評価でお答えください。

a	ルート	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い
b	運行ダイヤ (時間帯・間隔)	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い
c	車の乗り心地 (スピード・急停車など)	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い
d	停留所 (位置・間隔)	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い
e	運転手の対応 (接客・マナー)	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い
f	全体	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い
4または5を選択されたかたは具体的にご記入ください。		

その他感想、意見、利用促進のアイデアなどをご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

※ このアンケート用紙はご記入後、12月28日(金)までに車内の回収箱にご投函いただくか、市役所都市計画課へご持参いただけますと幸いです。

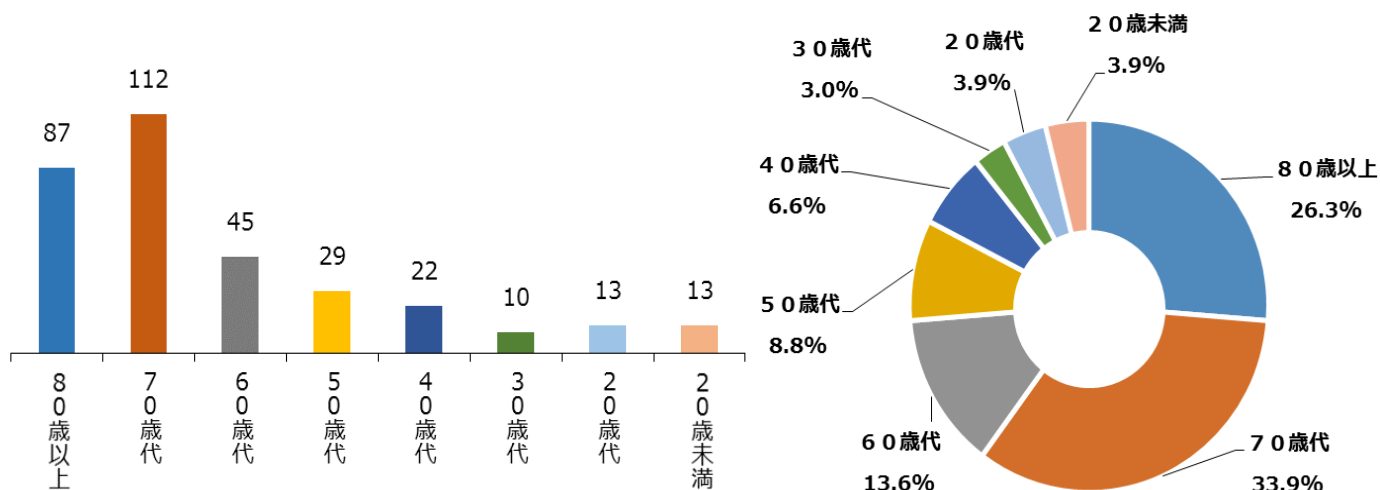
※ 回答いただいた結果は、今後の運行改善の参考とする以外には使用しません。

平成30年度利用者アンケート調査集計結果

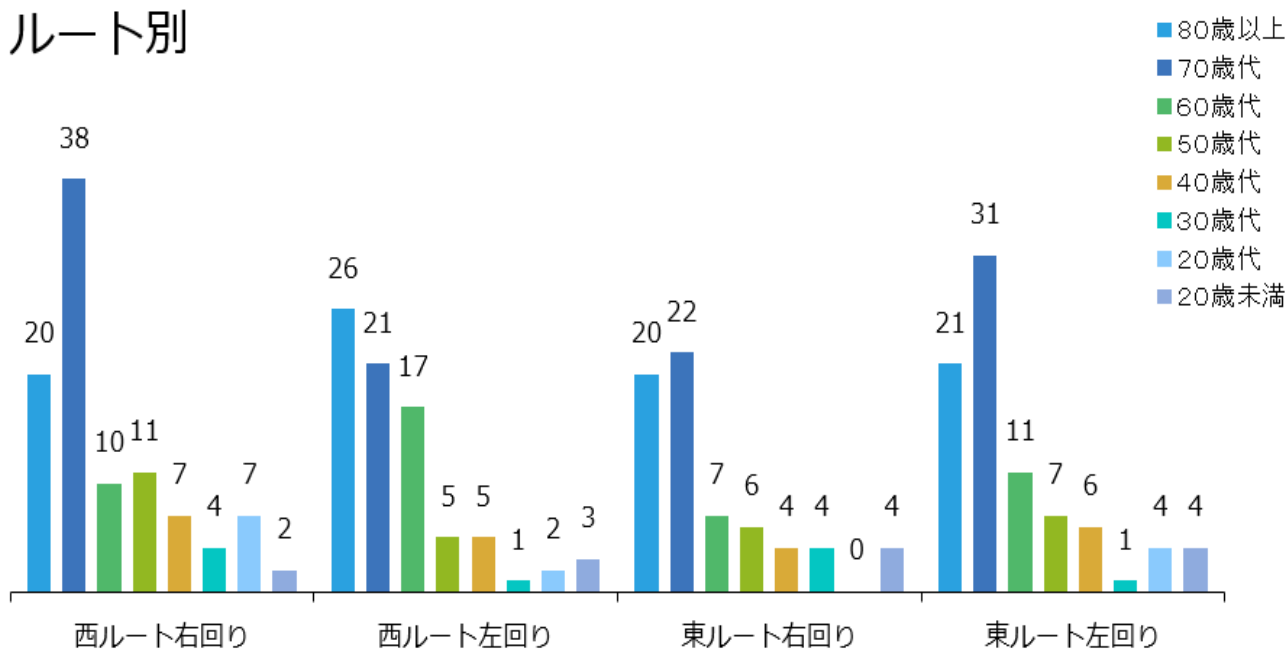
1 集計結果

Q. あなたのことについてお聞きします。

①年齢

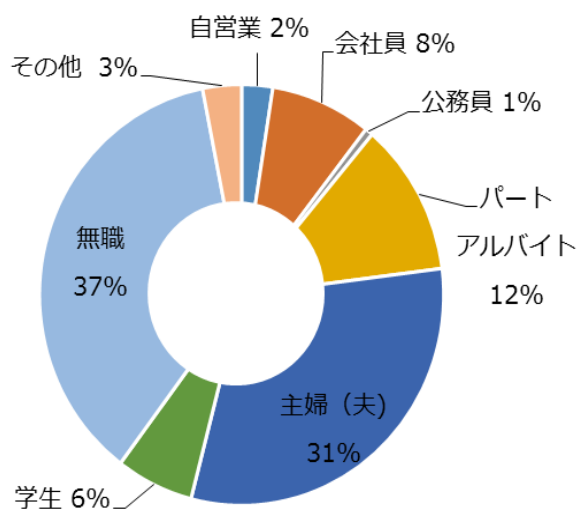
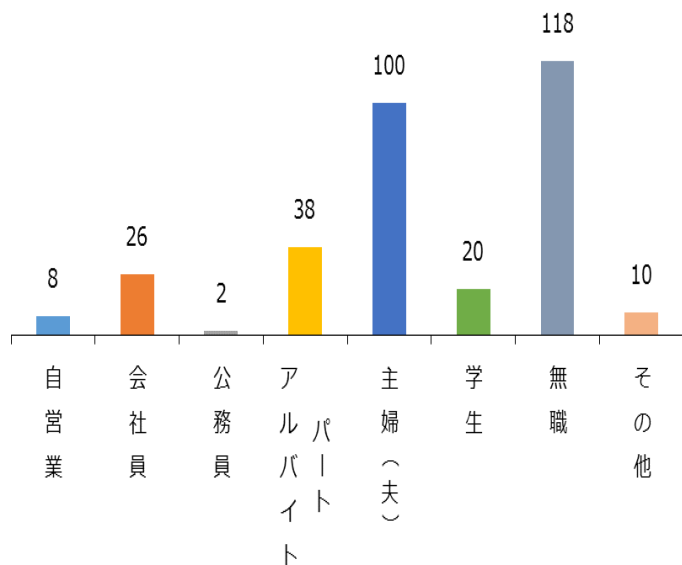


ルート別



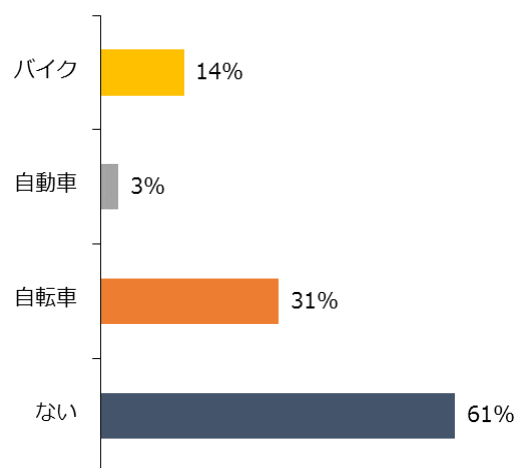
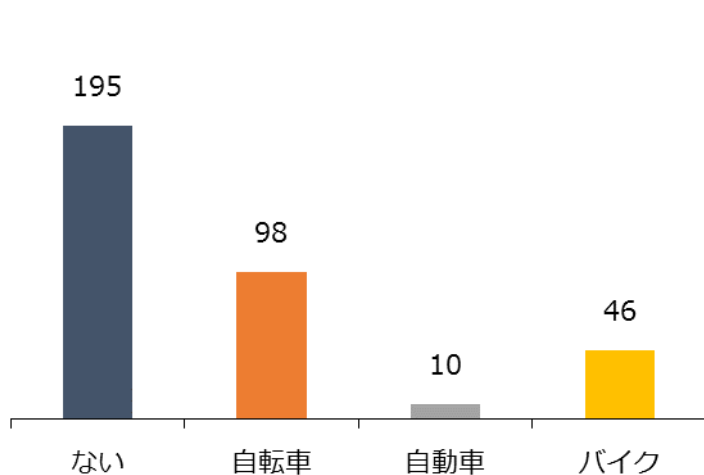
- ・年齢について、「60歳代」以上の人が7割を越えている。
- ・ルート別の年齢では、西ルート左回り以外は「70歳代」の利用者が最も多くなっている。

②職業



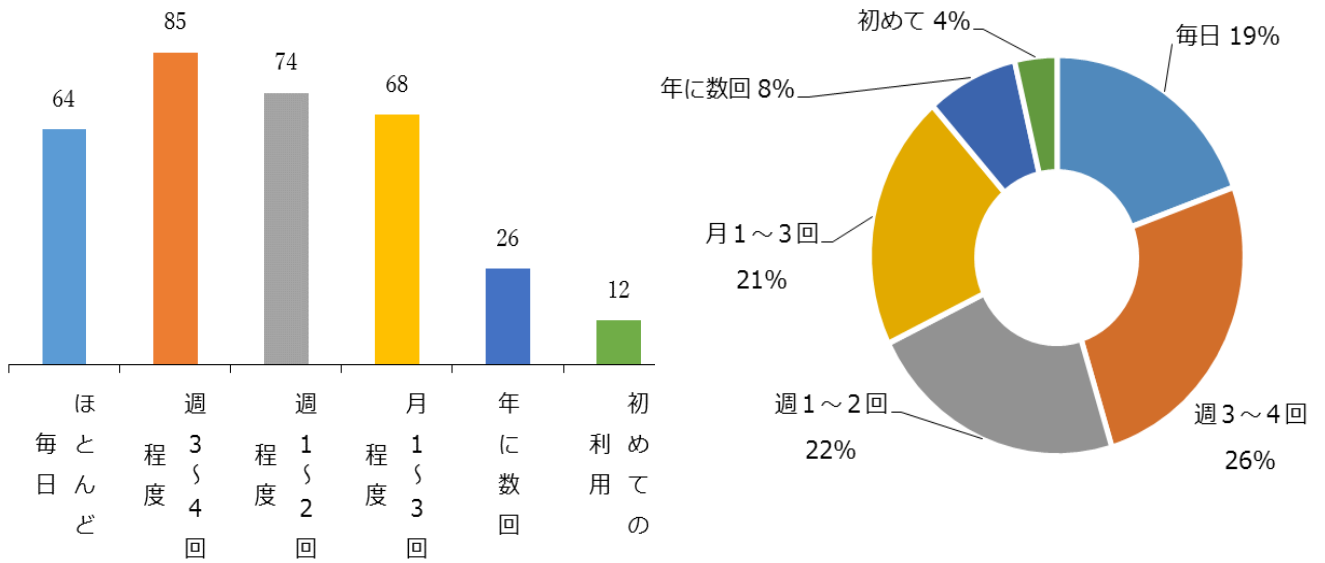
- ・職業について、「主婦（夫）」または「無職」と答えた人の割合が合わせて約7割となっている。

③自ら運転して使える交通手段（複数回答可）



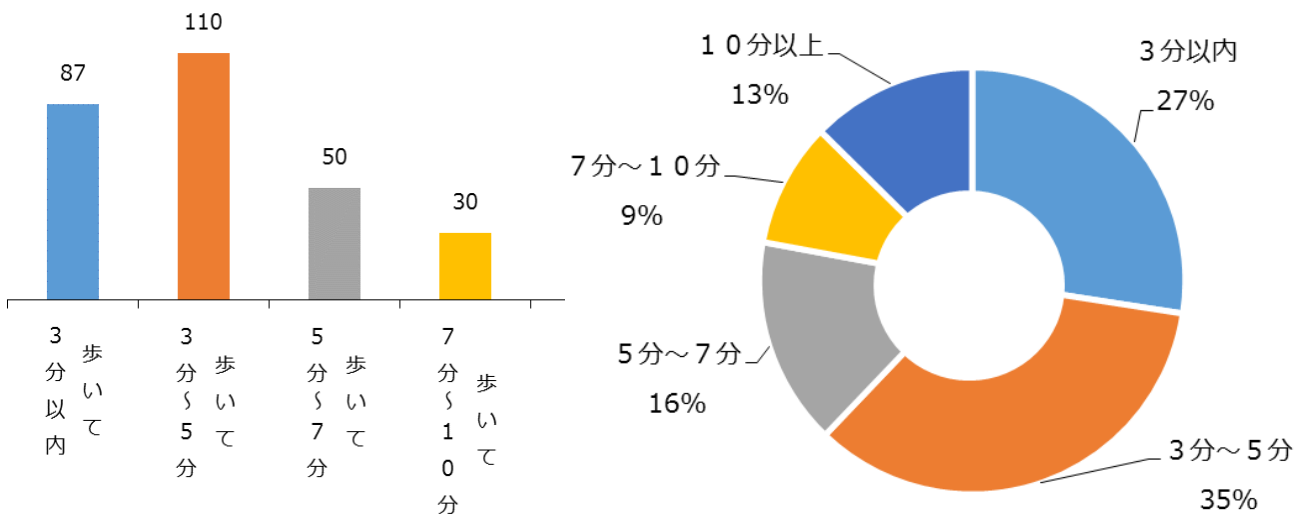
- ・自ら運転して使える交通手段について、「ない」と答えた人が昨年度より2ポイント増えて61%となっている。
- ・「バイク」を運転することが可能な人は、14%で昨年度より4ポイント減少している。

④尾張旭市営バスの利用回数



- ・「ほとんど毎日」「週3〜4回程度」利用している人の割合が、昨年度より6ポイント増加し45%となっている。
- ・「初めて」の利用と答えた人は、昨年度より1ポイント増加したものの、わずか4%となっている。

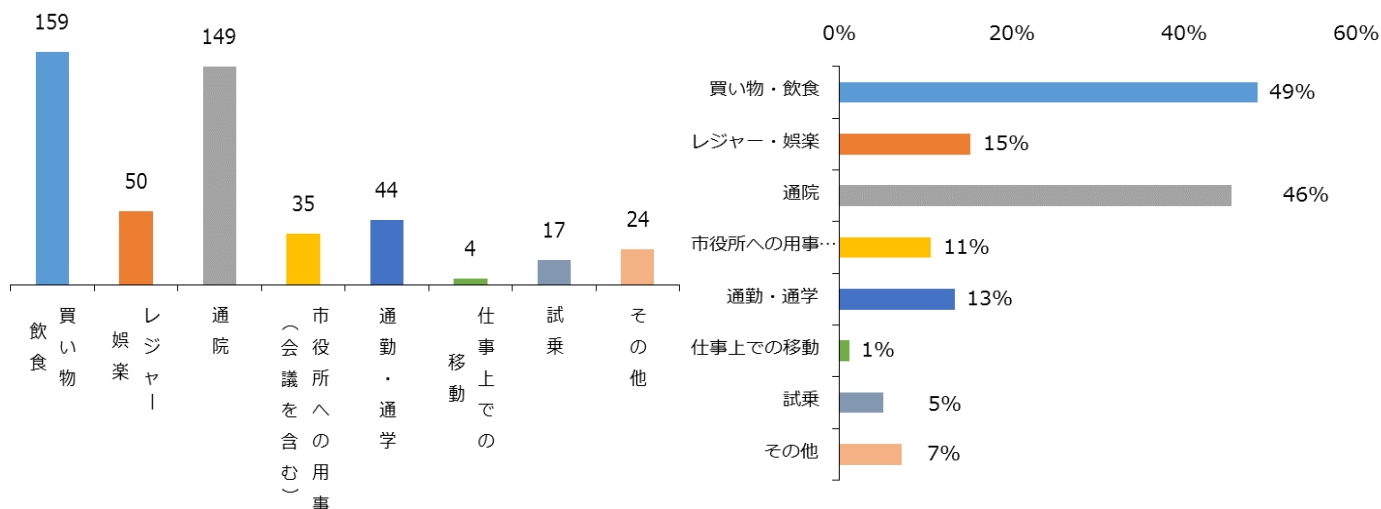
⑤自宅からバス停までの時間



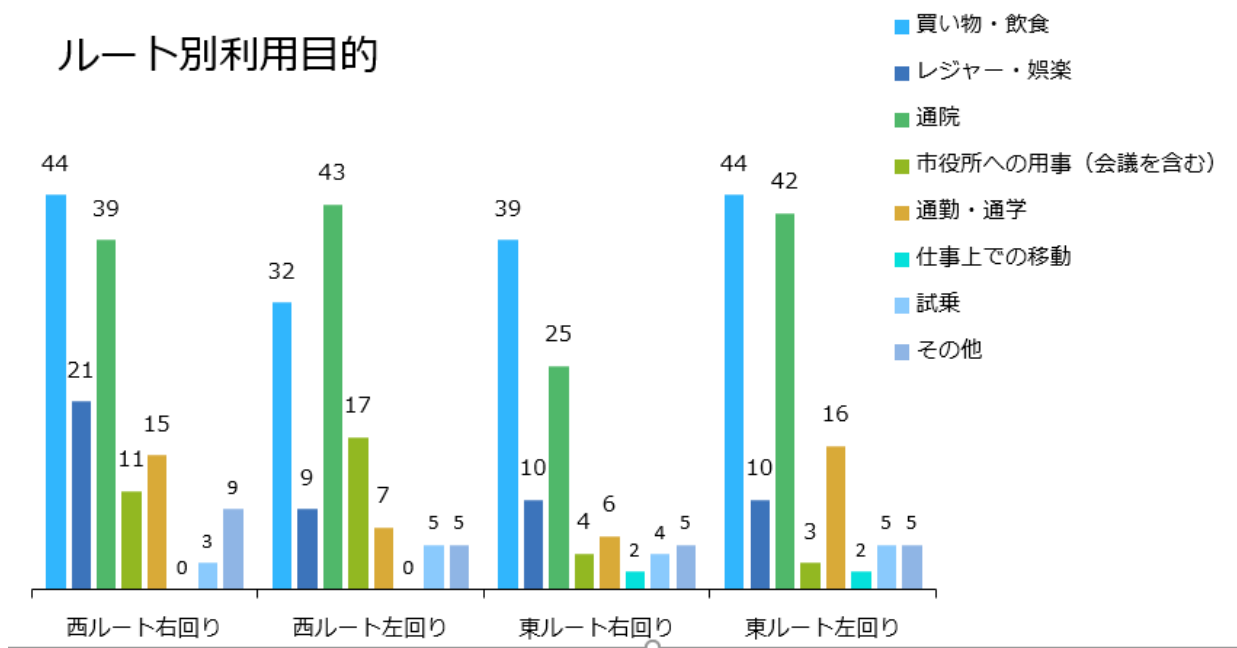
- ・自宅から停留所までの時間については、「歩いて3分以内」及び「歩いて3分〜5分」答えた人の割合が合わせて約6割となっている。

Q. あなたが、あさぴー号を利用する目的・理由などについてお聞きします。

⑥利用する目的（2つまで選択可）

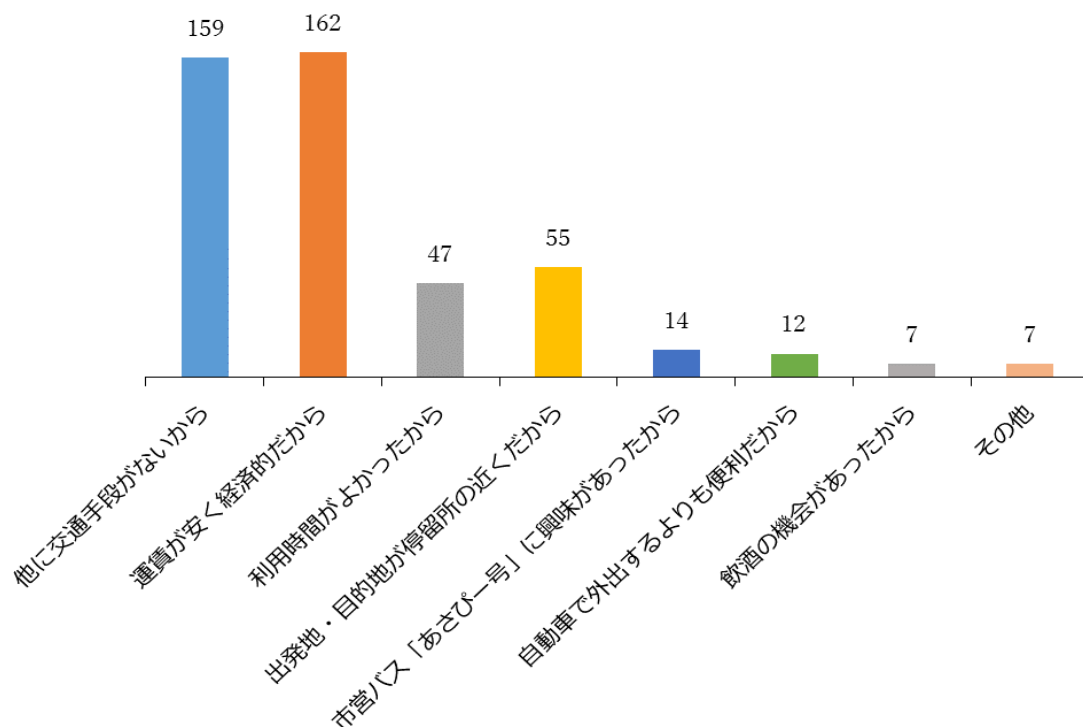


ルート別利用目的



- ・利用目的については、「買い物・飲食」及び「通院」と答えた人が多くを占めている。
- ・西ルート右回りでは「買い物・飲食」、左回りでは「通院」が最も多く、東ルートでは「買い物・飲食」のためのバス利用が最も多かった。

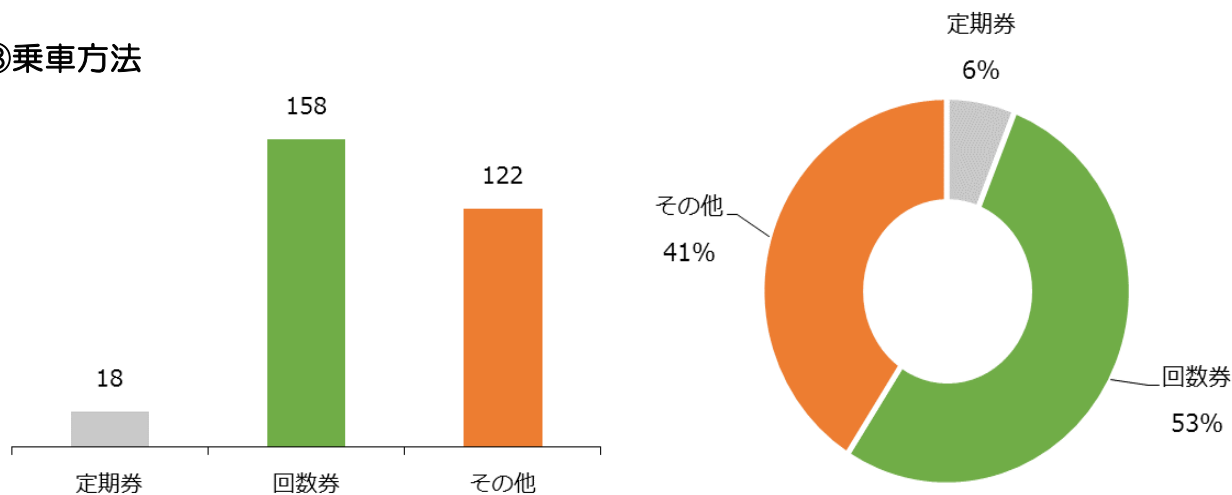
⑦利用する理由（2つまで選択可）



- ・利用理由は、「他に交通手段がないから」、「運賃が安く経済的だから」と答えた人が特に多かった。
- ・一方で、「自動車で外出するよりも便利だから」などの答えは少なかった。

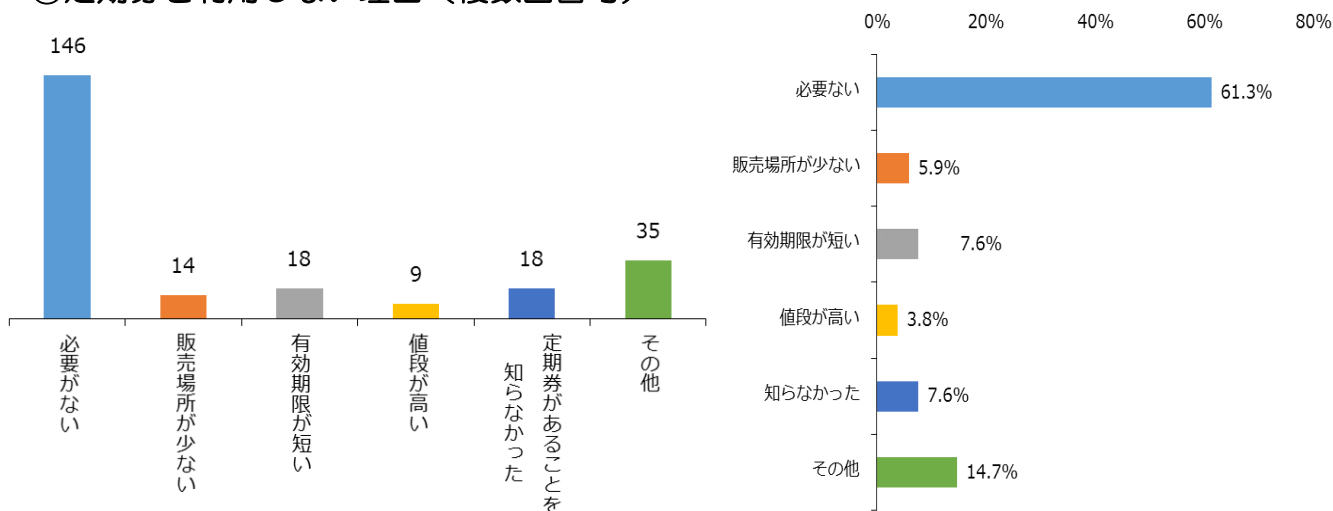
Q.あなたがどのようにあさび一号を利用しているのかお聞きします。

⑧乗車方法



- ・「回数券」及び「その他（現金及び無料利用者）」により乗車している方が9割を超え、定期券利用者は昨年度より2ポイント上昇したものの1割に満たない結果となった。

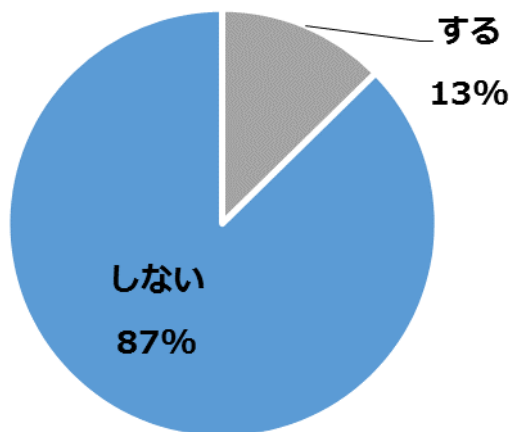
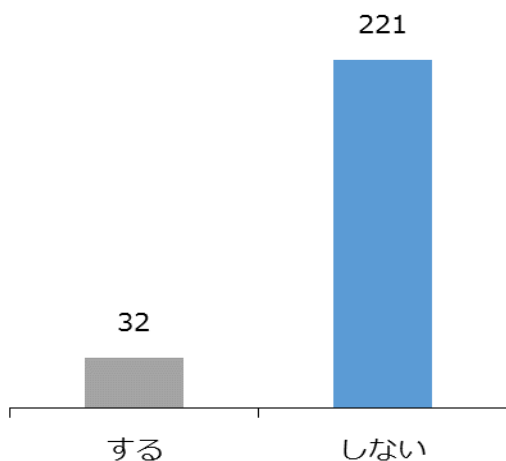
⑨定期券を利用しない理由（複数回答可）



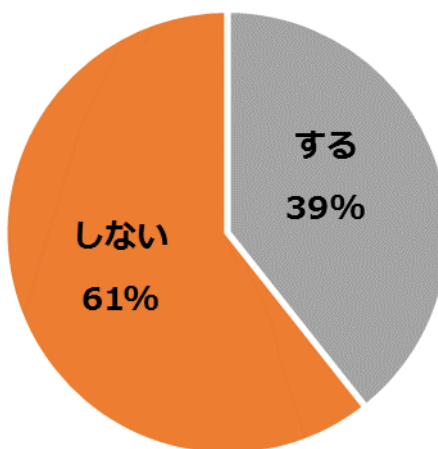
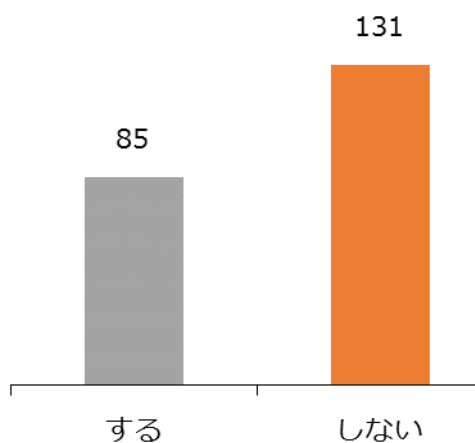
- ・定期券を「必要がない」と回答した方が6割を超えた。
- ・「定期券があることを知らなかった」と回答した方も多く、定期券の認知度自体が低いと考えられる。

⑩乗降内容

乗降後、他ルートへの乗換



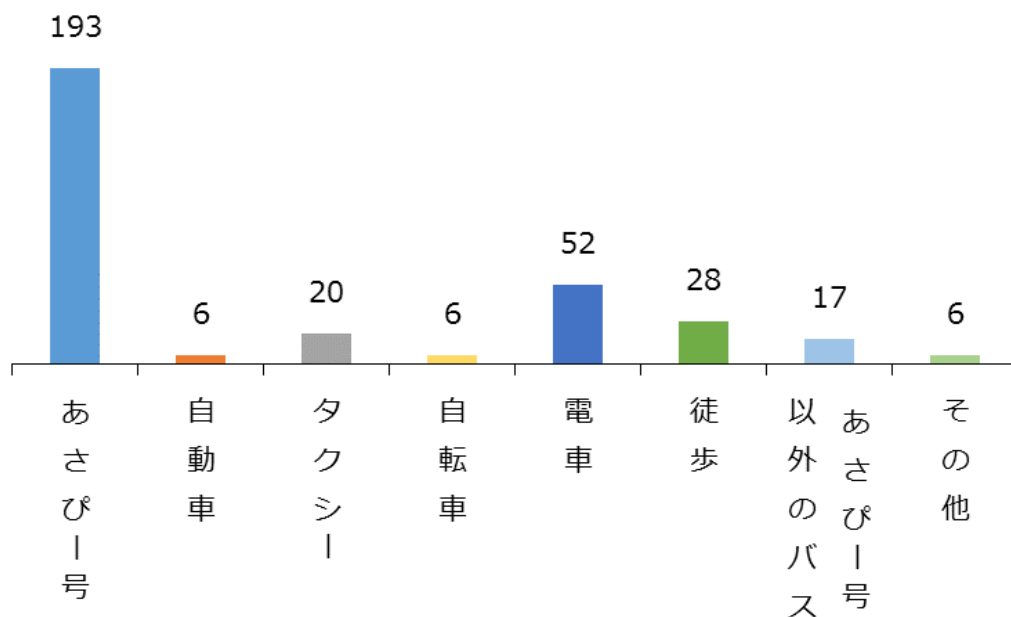
他の公共交通への乗換



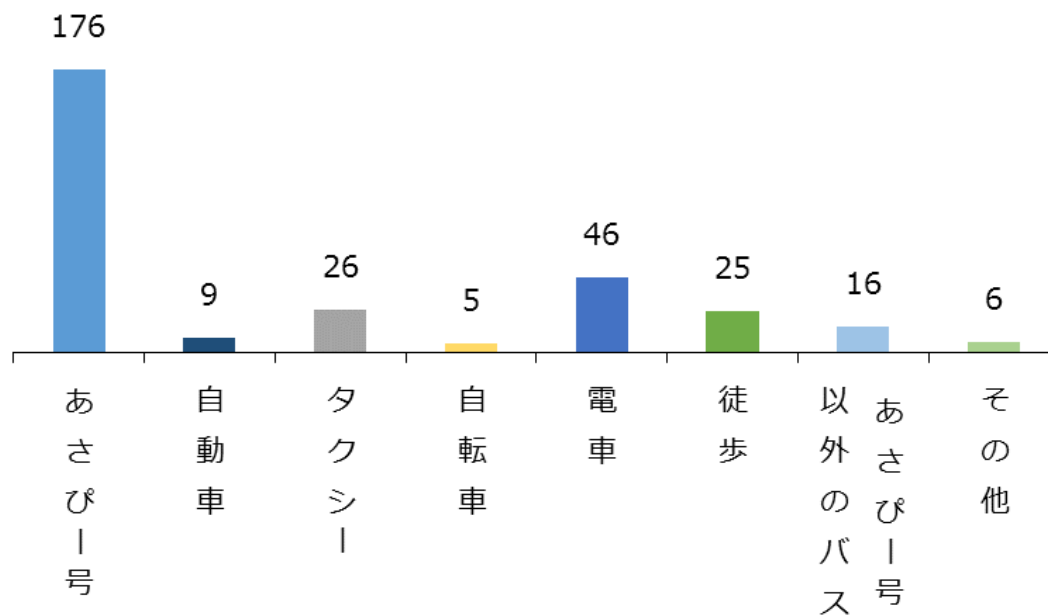
- ・「あさび一号の他ルートへの乗り換え」をしている回答者は1割となった。
- ・「他の公共交通への乗り換え」は回答者の約4割となっており、残りの6割については、あさび一号を利用して直接目的地に向かっていると考えられる。

⑪お出かけとお帰りの交通手段（それぞれ2つまで）

本日のお出かけの交通手段



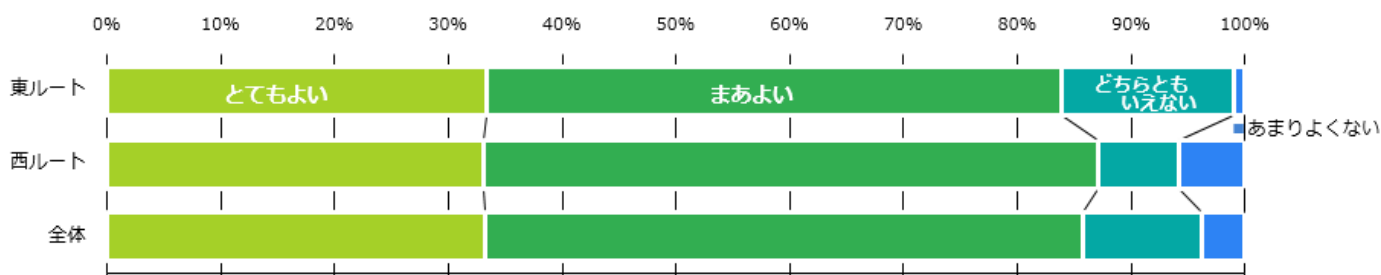
本日のお帰りの交通手段



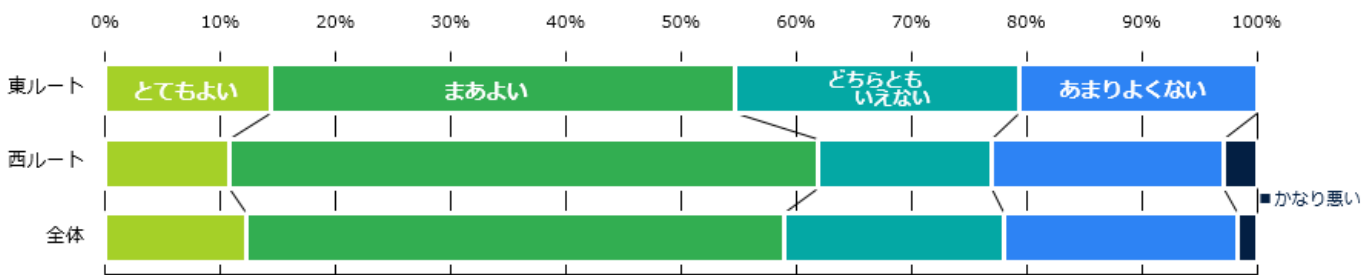
- 目的地まで「あさぴー号」で行き、「あさぴー号」で帰る人が非常に多かった。
- 目的地への行き帰りの交通手段として、「あさぴー号」に「タクシー」「電車」といった公共交通機関を組み合わせで移動されている方が見受けられる。

Q. 市営バスの運行の内容について項目ごとに5段階評価でお答えください。

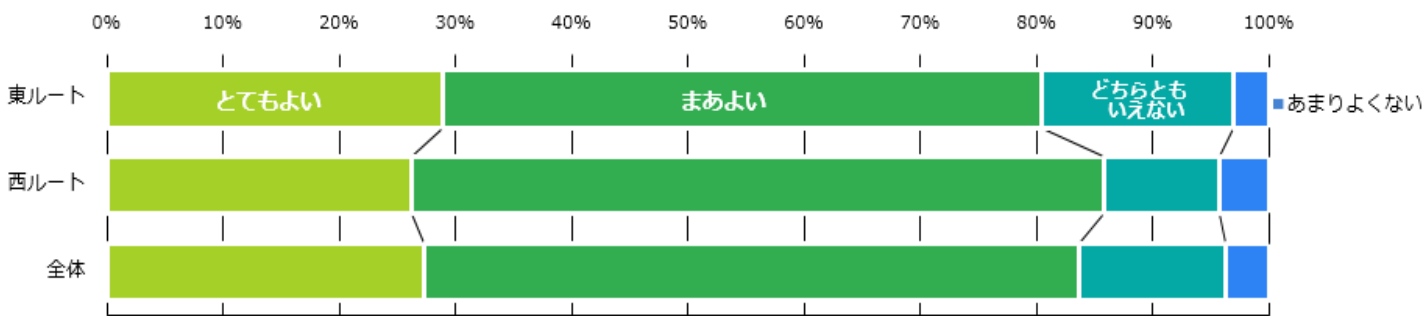
a 運行ルート



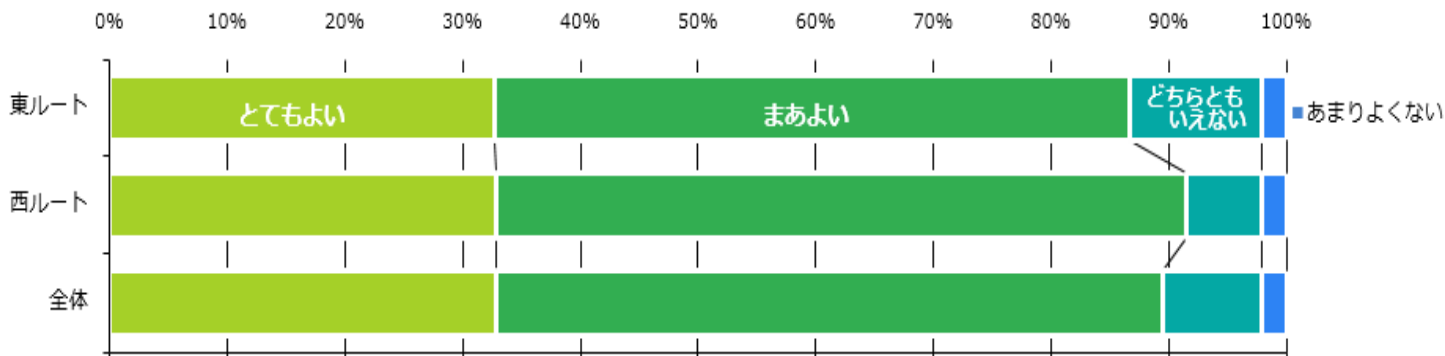
b 運行ダイヤ（時間帯・間隔）



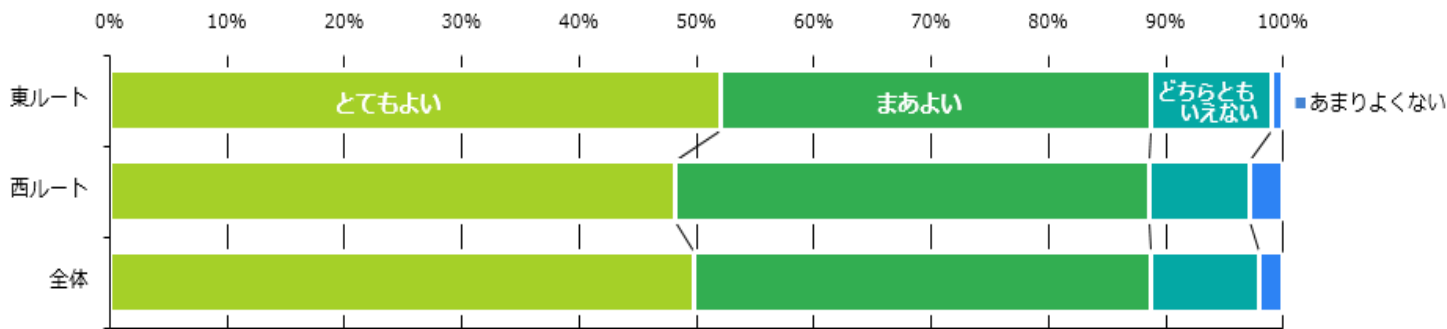
c 乗り心地（スピード・急停車など）



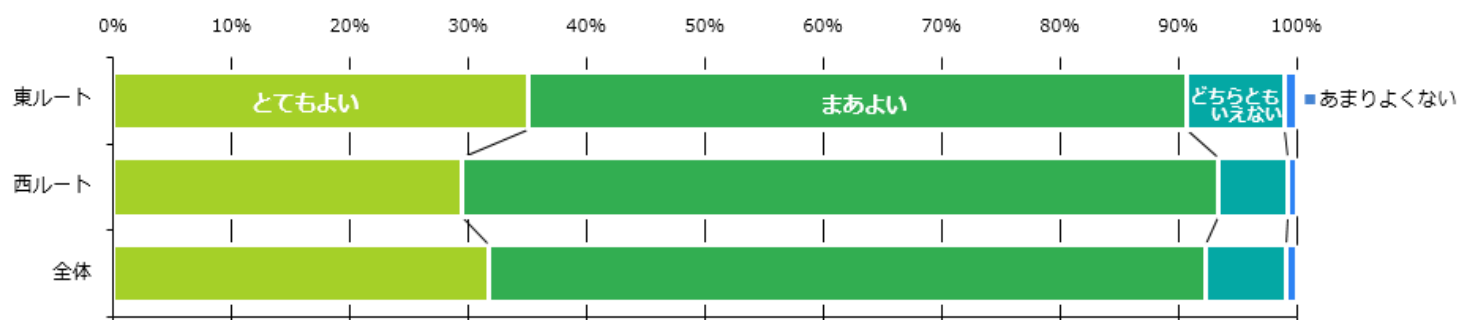
d 停留所（位置・間隔）



e 運転手の対応（接客・マナー）



f 全体



- ・「運行ダイヤ」以外は「とてもよい」「まあよい」を合わせると昨年度より改善され8割を超えている。
- ・「運行ダイヤ」は、他の項目と比べ「とてもよい」の回答が減少し2割を切っている。また、「あまりよくない」「かなり悪い」の回答が2割を超えている。
- ・「運転手の対応」については、昨年度同様に「とてもよい」「まあよい」を合わせると全体で約9割となっている。

2 まとめ

○ 利用者の特徴

利用者は、「60歳」以上の利用が約7割でした。

職業については、「主婦（夫）」または「無職」の方が大部分を占めております。

自ら運転できる交通手段を「持たない」と答えた方が約7割となり、また、利用頻度は「ほとんど毎日」、「週3～4回程度」と答えた方が多いことから、交通手段を持たない方にとってあさび一号は非常に欠かせないものとなっております。

利用理由については、「他に交通手段がないから」、「出発地・目的地が停留所の近くだから」、「運賃が安く経済的だから」を多くの方が答えており、その利用目的は「通院」、「買い物・飲食」が多いこと、またお出かけとお帰りにはともに「あさび一号」を利用されている方が多いことから、あさび一号が主に高齢の方々の日常生活における重要な移動手段となっていると言えます。

市営バスの運行内容については、「運行ダイヤ」の評価が低くなったものの、その他の項目については大きな変化は見られず、昨年同様に高い評価を得られています。